

920  
1  
27

三上精一評述

毛氏地理書直譯

明治六年七月出版 三書房發行

022166-000-4

特20-239

地理書直訳 (モーレー氏)

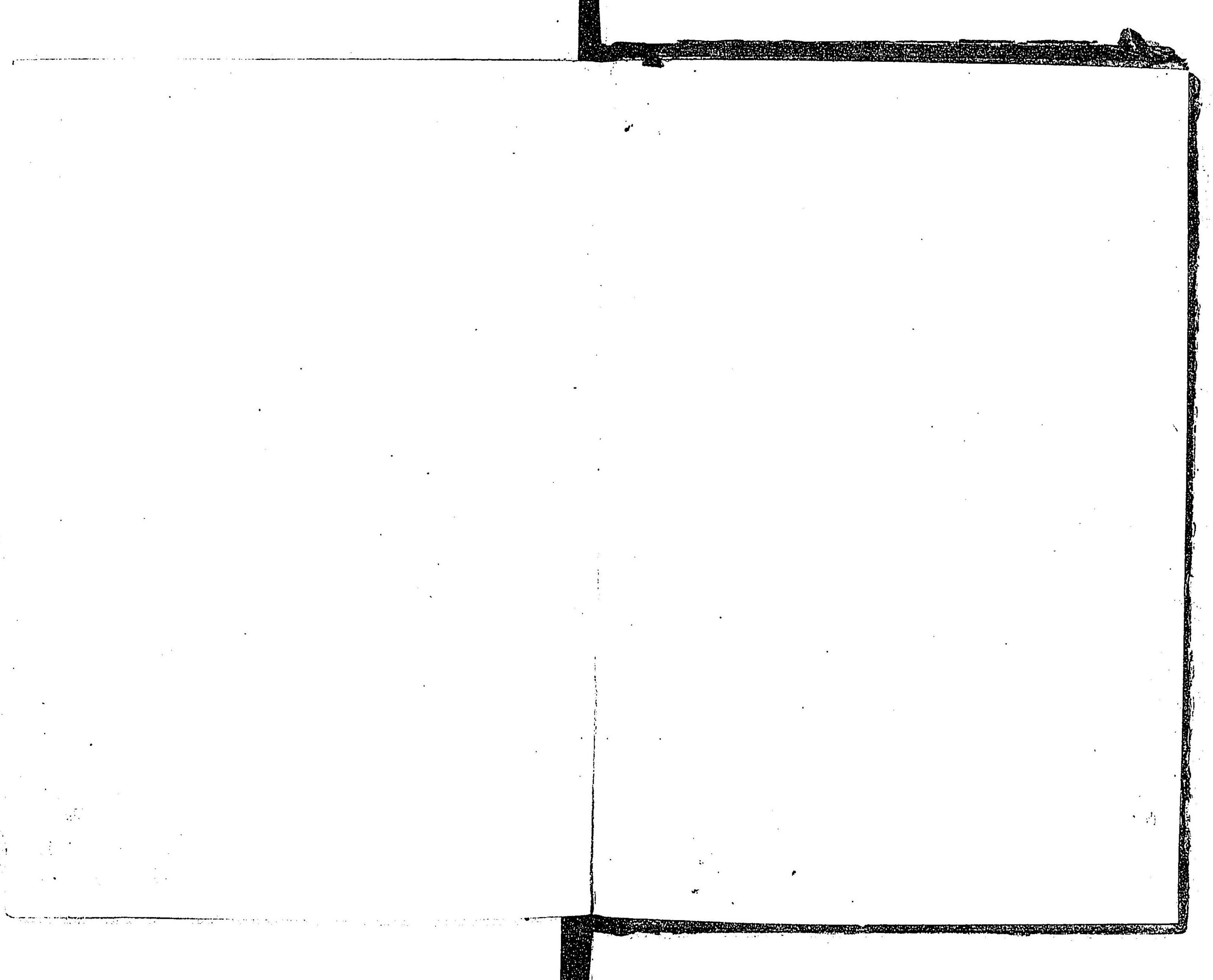
三上 精一/訳

M18

ADA-0589



2



特20  
239

三上精一譯述

地理書直譯

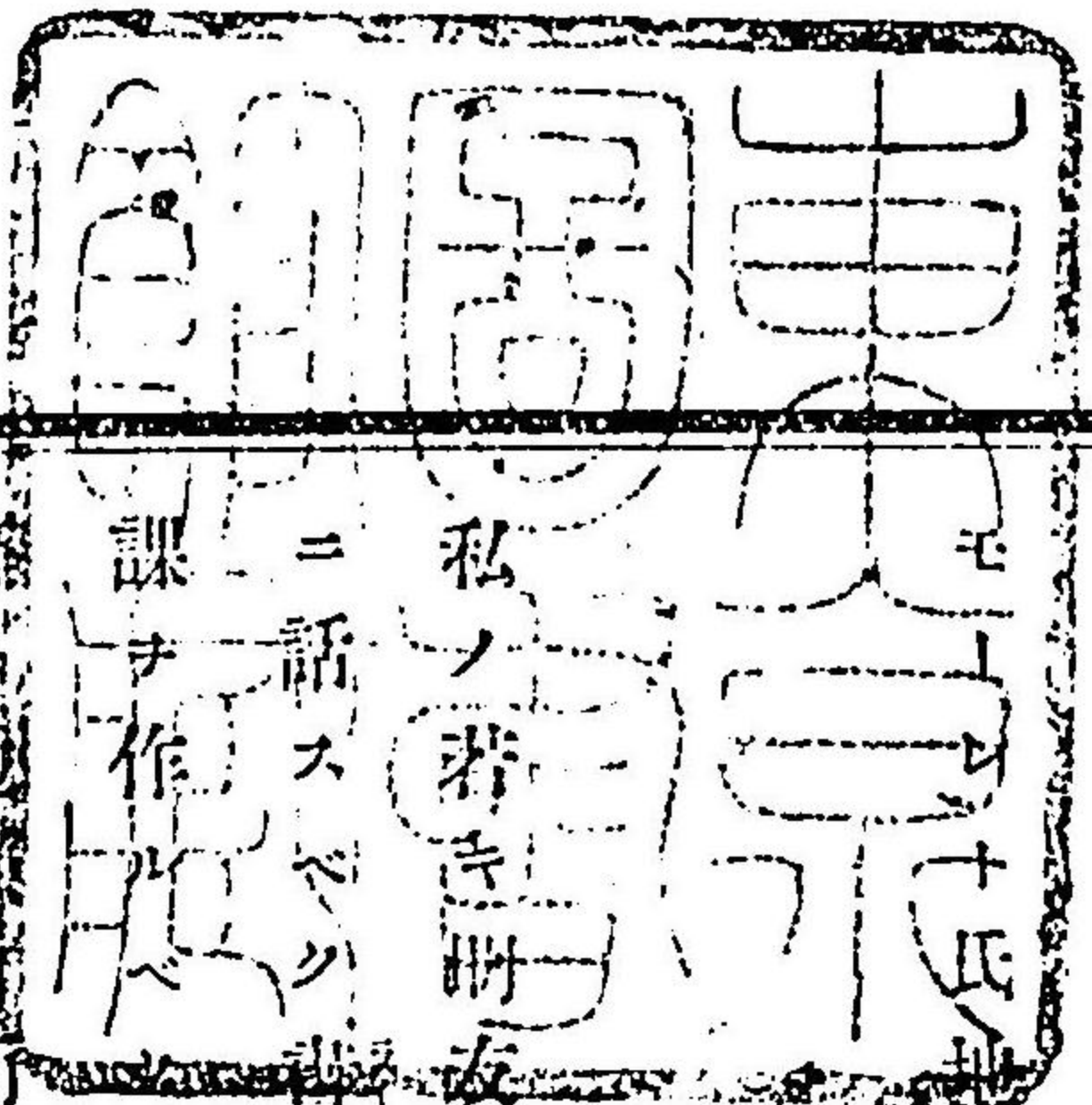
明治十六年七月出版  
三書房發兌

一歐米ノ學術數十百種ニ降テズ然レモ其必須ナルモノヲ索ム一二ヲ除クノ外恐クハ地理ノ右ニ出ヅルモノアラザルナリ蓋シ其用ノ大ナルニアラズシテ其用ノ廣キヲ以テナリ然リ而シテ近來英學ノ盛ナル都鄙ノ別ナク普ク之レヲ攻究スルニ至リ隨テ地理ノ如キモ亦英書ヲ以テス而シテ英文地理ノ書タル其書ニ乏シカラズト雖モ或ハ浩瀚ニ過ギ或ハ簡質ニ偏シ事實錯誤スルモノニアラザレハ己ニ陳套ニ屬スルモノアリ獨リモ一氏著ス所義理精明能ク其要ヲ摘ム是レ今日最モ博ク世ニ行ハル、所以ニシテ余ノ本書ヲ直譯スルモ亦此意ニ外ナラズ殊ニ直譯ノ其意義ヲ得ルニ艱ムハ猶隔靴ノ歎ナキ能ハズ故ニ補字ヲ加ヘテ其意ヲ明カニスル所アリ是レ啻ニ文字ヲ記スルノミナラズ併セテ地理ノ大要ヲ得セシメント欲スルノ微意ナリ

一編中(○)ニハ(一)ナル標印ヲ附シ補字ハ其傍ニ(○)ナル標印ヲ附シ  
 一關係代名詞并ニ接續詞ノ如キ一語ヲ二度讀ム者アリ亦二三ノ語ヲ  
 合セテ一語ニ讀ム者アリ是等ハ原書ヲ學ブニ能ク注意セバ自ラ其  
 理ヲ了解スルヲ得ベシ

明治十八年六月

譯者誌



地理書直譯前編

三 上 精 一 譯 述

序

私ノ若キ時友ヨ此ノ本ガ夫ニ於テ我々ガ住居スル所ノ世界ニ付テ汝  
 ニ話スベク書レク私ガ出來ベク丈シ左様ニ明カナル而シテ面白キ日  
 課ヲ作ルベク試ミタ然シナガラ善キ地理學者ト成ルベク汝ガ能ク彼  
 等ヲ勉強シ而シテ都テノ時地圖ヲ用エテハナラヌ○汝ガ見ル此ノ序  
 ノ日課ガ大概圖入りデアアル技術者ガ茲ニ彼等ノ氣候ニ迄從ツテ種々  
 ノ國ノ顯レニ關係シタル告知ノ大ナル各種ヲ汝ノ眼ニ迄顯ハス石ニ  
 於テ北冰洋ノ景冬ノ部分ニ於テノ船、旅行スルヲノ二ノ仕方、海豹、白熊  
 而シテ海馬ヲ獵スルヲ頂上ニ於テ噴出ス所ノ鯨、左ニ於テ我々ノ如キ  
 氣候ニ於テノ景、鉄道ノ列車、夏ノ果物、耕作スルヲ等下ニ土民、野獸、鳥而

シテ熱キ國ノ蟲ト共ニ茂タル植物、中央ニ於テ人間ノ五ノ人種、彼ノ本  
 ナ以タルコゝカ、シヤ人、冠ナキイギオーピア人、彼ノ槍ヲ以タルマレ  
 一人、彼ノ辯ヲ以タルモンガルターター人、而シテ彼ノ羽根ヲ以タル亞  
 米利加印度人、サテ毎日善キ日課ヲ以テ汝ガ速ニ世界ノ都テノ國ニ  
 就テ學ブデアロフ

第壹章

世界ノ形ニ付テ

〔教師〕汝ガ夫ニ於テ我々ガ住居スル所ノ世界ニ迄如何ナル他ノ名ヲ與  
 ヘナスカ ○〔生徒〕我々ガ夫ヲ地球ト呼ブ ○〔教師〕汝ガ地球ノ形ガ何デア  
 ルカチ知リナスカ ○〔生徒〕夫ガ橙ノ如ク圓クアル ○〔教師〕然リ夫ガ滑カナル大  
 理石ノ如ク全ク圓クアラヌ但シ山谷平原等ノ平坦ナル表面ヲ持ツ  
 汝ガ地球ノ表面ニ因テ何チ意味シナスカ ○〔生徒〕我々ガ夫ノ外側チ意味

スル人民ガ住ウ植物而シテ木ガ成長スル而シテ水ガ夫ノ表面ノ上ニ  
 流レル ○〔教師〕汝ガ地球ガ圓クアルト言ヒシ如何ニ汝ガ是チ知リナスカ  
 ○〔生徒〕如何トナレバ船而シテ人民ガ絶ヘズ夫ノ周圍ニ行ク故ニ ○〔教師〕然  
 リ而シテ私ガ地球ノ圓キコノ他ノ證據ヲ汝ニ話スデアロウ 若シモ汝  
 ガ圓キ丘陵ノ一方ニ於テアリシ而シテ男子ガ他ノ側カラ汝ノ方ニ歩  
 ムデアロウナラバ汝ガ最初ニ彼ノ頭然ルキニ彼ノ肩ヲ見ルデアロウ  
 而シテ次第ニ彼ノ全キ体が見ユニ迄來ルデアロウ 左様ニ若シモ汝ガ  
 海岸ニ於テアリシ而シテ船ガ廣キ大洋カラ中ニ來リツ、アリシナラ  
 バ汝ガ最初ニ帆柱ノ頂上然ルキニ綱張而シテ帆ヲ見ルデアロウ 夫ガ  
 近ク來リシニ從ツテ汝ガ全キ船ヲ見ルデアロウ 迄 ○若シモ汝ハ速カ  
 ナル鉄道ノ列車ガ汝ヲ運ビ能ヒシ丈ク左様ニ速ニ晝夜休ムベク止マ  
 ルコトナシニ旅シ能ヒシナラバ此ノ大ナル地球ノ周圍ニ全ク行クコト

夫カ數週問ヲ取ルデアロウ[汝ガ二萬五千里ヲ旅スルデアロウ]地球ノ周圍ノ距離ガ夫ノ周圍シムカウラノエンスト呼バル、○地球ノ中心ヲ通シテ直線ニ於テ一方カラ他ニ迄ノ距離ガ夫ノ直徑ダイアメタート呼バル、而シテ殆ソド八千里廣ガル○例令我々ノ世界ガ左様ニ大ニアルトハ雖モ星ノ中ニ或ル他ノ世界ガ甚ダ數倍ヨリ大キクアル

第二章

半球ヘミスフィア而シテ地圖ニ就テ

〔教〕夫ニ由テ汝ガ圓体ト呼ブ所ノ名ノ或者ガ何デアルカ○〔生〕我々が夫ヲ球、球或ハ圓体ト名付ル○〔教〕我々ノ地球ガ外面上ニ住ワレタル圓体デアル[眼カ距離カラ夫ノ上ニ詠メル所デ勿論一時ニ於テ只半分ヲ見能ヒシ]地球ガ中心ヲ通シテ二ノ一様ナル部分ニ迄分タレ而シテ二ノ部分ノ全キ圓キ表面ガ一度ニ見ラレ能ヒシノ程左様ニ置レシナラハ夫

ガ次ノ半枚ニ於テノ畫ノ如ク見ユルデアロウ○圓体ガ斯様ニ二ツノ部分ニ迄分タル、ヒニ各ノ半分ガヘミスフィア精ク言ヘハ半球ト呼バル、半球ノ各ガ夫ノ大陸、島、大洋、灣、入江等ヲ以タル地球ノ表面ノ半分ノ顯レヲ現ワス[太陽カ夫ノ上ニ我々が住ム所ノ地球ノ側ノ上ニ畫ニ於テ輝キツ、アル夫カ他ノ側ノ上ニ夜デアル而シテ月及ビ星ガ其處ニ輝キツ、アル]夫ノ上ニ亞米利加ガアル所ノ輝タル側ガ西半球或ハ新世界ト呼バル、他ノ半分ガ東半球或ハ舊世界デアル○地球ガ各ノ二十四時間ニ於テ一度西カラ東ニ迄回轉スル夫故ニ太陽ガ我々ノ側ノ上ニ半時輝ク然ル~~ヒ~~ニ夫ガ我々ヲ以テ正午デアル而シテ我々ニ迄反對シタル側ノ上ニ人民ヲ以テ夜半デアル○地圖ガ世界或ハ夫ノ一部分ノ畫デアル[汝ガ二十二枚ノ上ニ全世界ノ地圖ヲ見出スデアロウ]汝ハ亦汝ガ種々ナル國ニ就テ勉強スルニ從ツテ世界ノ部分ノ

多クノ地圖ヲ見出ステアロウ○何カラ地球ノ表面ガ成立ナスカ○(生)陸ト而シテ水カラ○(教)如何ニ陸カ分タル、カ○(生)大陸ト而シテ島ニ迄○(教)半球ノ上ニ汝ガ大陸ト呼バレタル陸ノ大ナル塊而シテ島ト呼バレタル水ニ由テ取捲レタル陸ノヨリ小サキ体ヲ見ル○如何ニ水ガ分タル、カ○(生)大洋、海、湖水、而シテ河ニ迄○(教)茲ニ汝ガ亦都テノ陸ヲ圍ム所ノ水ノ大ナル体ナル大洋ヲ顯ハサレテ見ル○汝ハ嘗テ大洋ヲ見タカ[汝ハ嘗テ湖水ヲ見タカ]何處ニ夫ガアリシカ[書生ヲシテ話シ而シテ夫ヲ記載セシメヨ]○汝ガ地圖ノ上ニ河、島、湖水ヲ私ニ顯ハシ能フカ[夫ニ於テ彼ガ有ル所ノ國ヲ保ツ所ノ地圖ヲ書生ニ見ハセ而シテ彼ヲシテ夫ハ記サル、所ノ重ナル河ヲ指示サシメヨ亦若シモ其處ニ或ルモノガ有ルナラハ湖水而シテ島ヲ指示サシメヨ]

第三章

世界ニ就テヨリ多ク

(教)其處ニ世界ニ於テヨリ多クノ水或ハヨリ多クノ陸ガアルカ[蓋ニ於テ詠メ眼ニ依テ判斷セ而シテ云へ]○(生)ヨリ多クノ水陸丈ケ三倍左様ニ多クノ水○(教)陸ガ都テ一体ニ於テアルカ○(生)否ナ夫ガ大陸而シテ島ニ於テアル○(教)如何ニ多クノ大陸ガ其處ニ在ルカ○(生)其處ニ亞米利加、歐羅巴、亞細亞、而シテ亞非利加ナル四大陸ガアル○(教)其處ニ各々大ナル大洋ノ水ニ依テ圍マレタル舊世界而シテ新世界ナル實ニ唯二ツガアル然シナカラ歐羅巴、亞細亞而シテ亞非利加ガ(教)令彼等ガ都テ一緒ニ結付ラル、而シテ陸ノ唯一体ヲ形造ルトハ雖モ便利ニ向テ大陸ト呼ハレタ[世界ノ地圖ニ於テ四大陸ヲ指示セ]汝ハ彼等ガ多クノ國ヲ抱合スル所ノ陸ノ大ナル塊リデアルト見ル○北而シテ南亞米利加ガ(教)ナマノ地峽ナル陸ノ狹キ緯ニ依テ結付ラル、[歐羅巴、亞細亞、而シテ亞



非利加が總テ結付ラル、汝が歐羅巴カラ亞細亞ニ迄而シテ然ルキニ  
 亞非利加ニ迄陸ニ由テ行キ能フ、汝カ地圖ニ依テ見ル如ク汝ハコーカ  
 ス山脈ヲ横切り而シテ亞細亞迄ニ過ギ得ル然ルキニ殆ンド一千里南  
 西ニ或ハ殆ンドウワシントンカラ新オルレンスニ迄ノ如ク左様ニ遙  
 カ旅スル所デ汝ハスエスノ地峽ヲ横切り而シテ夫ハ亞非利加ニ於テ  
 アル所ノ而シテ夫ニ付テ汝カ經典ニ於テ左様ニ多ク讀ンダ所ノ埃及  
 ノ名高キ陸ニ入込ミウル、シヨセフハ彼ノ兄弟カ彼ヲ賣リシキニ運ハ  
 レシ、夫カ其處デアリシ此ノ旅ヲ或ハ夫ニ於テ我々ノ救世者ガ  
 住居セシ所ノ夫ハ亞細亞ニ於テアリ而シテ夫ハ都テキリスチアンノ  
 人民迄ニ左様ニ大切ニアル所ノ國ナルホーリーランドヲ通シテ取ル、汝  
 ガ成長シ而シテ旅シツ、行クトニ恐フクハ汝ガ世界ノ其ノ部分ヲ見  
 舞フデアロウ汝ガ然ルキニ其處ハ箱船ガ洪水ニ於テ上陸サレシ所ノ

X

アラ、ツト山ノ景ニ於テ過ギ得ル汝ガシルサレムニ於テ或時費ヤシ  
 死海ヲ見舞ヒ而シテ夫ノ頂上ニ於テ十戒ガモセスニ迄告ラレシ所ノ  
 シナイ山ノ麓ニ於テ眠リ得ル、サマソム汝如何ニ人民ガ歐羅巴、亞細亞而ノ亞  
 非利加ガ名付ラル如ク舊世界カラ北亞米利加或ハ南亞米利加ニ迄過  
 ギナスカ、オ生彼等カ船ニ於テ海ニ添テ來ル、殆ンド四百年以前コソリ  
 ストフア、オコロンバスが大西洋ヲ横切テ出帆セシ而シテ亞米利加ヲ  
 發見セシ而シテ人民ガ夫ヲ新世界ト呼ビシ、オ是ガ然ルキニ驚クベ  
 キ航海デアリシ而シテコロンバスカ信用而シテ勇氣ノ澤山ヲ持ナシ  
 コトヲ顯ハセシ、オ今船カ絶ヘズ舊世界ノ大陸ト而シテ新世界ノ夫等ノ  
 間ニ横切テ出帆シツ、オアル、オ二十二ペーシノ地圖ニ迄向ケ而シテ汝  
 ハ歐羅巴カ最モ小ク有ル而シテ亞細亞ガ四大陸ノ内デ最モ大ナルモ  
 ノデアアル、オヲ見ルデアロウ如何ニ多クノ島カ其處ニアルカ、オ生其處

ニ彼等カ決シテ數ヘラレナンダ<sub>一</sub>程左様ニ多クノ島ガアル○(教)島ガ何  
 デアルカ○(生)ド<sub>一</sub>ンナニ小サクトモ夫ハ水ニ由テ取り捲カル所ノ陸ノ  
 或ル部分カ島デアル<sub>一</sub>紐育ナル大ナル都府ガ島ノ上ニアル<sub>一</sub>キユバガ島  
 デアル<sub>一</sub>大貌列顛ガ島デアル○(教)世界ニ於テ最モ大ナル島ガ澳西太利  
 亞デアル<sub>一</sub>汝ガ東半球ニ於テ亞細亞ノ南東ニ夫ヲ見ル<sub>一</sub>夫ガ我々カラ世界  
 ノ反對ノ側ニ於テ有ル<sub>一</sub>而シテ殆ンド其處ニ若シモ汝ガ地球ヲ通シテ  
 全ク穴ヲ堀リ能ヒシナラバ汝ガ他ノ側ニ於テ出デルデアロウ<sub>一</sub>人民ガ  
 其處ニ我々ノ對地者<sub>一</sub>デアル精ク云ヘバ我々ノ足ニ迄反對シテアル<sub>一</sub>夫  
 ガ甚ダ奇妙ナル場所デアル<sub>一</sub>夫ガ茲ニ夏デアル<sub>一</sub>キニ夫ガ其處ニ冬デア  
 ル<sub>一</sub>夫ガ茲ニ晝デアル<sub>一</sub>キニ夫ガ其處ニ夜デアル<sub>一</sub>而シテ正午ニ於テ太陽  
 ガ北カラ輝ヤク<sub>一</sub>其處ニ核ガ櫻子<sub>一</sub>ノ外面ニ於テ生長スル<sub>一</sub>而シテ木ノ或  
 モノガ彼等ノ葉ノ代リニ<sub>一</sub>彼等ノ皮ヲ落ス<sub>一</sub>モ<sub>一</sub>ガニ<sub>一</sub>(褐色ノ木名)ハ農

夫ガ夫ニ付テ彼等ノ籬ヲナスコト程左様ニ或ル場所ニ於テ通例デア  
 ル○其處ニ夫ハ四ノ足ヲ持チ毛皮ヲ以テ蓋ハレ<sub>一</sub>鷲ノ如キ<sub>一</sub>鬚ヲ持チ而  
 シテ卵ヲ置ク所ノ動物ガ其處ニアル<sub>一</sub>夫ガ鷲<sub>一</sub>呼バル<sub>一</sub>九ペー<sub>一</sub>ツノ  
 畫ガ夫ノ卵<sub>一</sub>而シテ夫ハ常ニ水ニ迄一ツ<sub>一</sub>而シテ陸ニ於テ一ツナル二ツ  
 ノ入口<sub>一</sub>ヲ持ツ所ノ穴ヲ汝ニ示ス<sub>一</sub>其處ニ亦汝ハ夫ガ夫ノ隠シニ於テ夫  
 ノ子ヲ運ブ所ノ序ノ日課ニ於テ畫カレテアル<sub>一</sub>奇妙ナル動物ナル<sub>一</sub>鼯鼠  
 ナ見出シ得シ其處ニ亦翼ナシノ鳥<sub>一</sub>而シテ夫ハ黒クアル<sub>一</sub>處ノ白鳥ガア  
 ル○其處ニ世界ノ其ノ遠ザカツタル部分ニ於テ夫ハ汝ガ汝ハ今世界  
 ニ就テ勉強ツ、アル<sub>一</sub>所ノモノガ名付ラル<sub>一</sub>、如ク地理學ノ勉強ニ於テ  
 進ムニ從ツテ汝ニ教ヘラル<sub>一</sub>、デアロウ<sub>一</sub>所ノ多クノ他ノ奇妙ナル物ガ  
 アル○澳西太利亞ガスマトラ、ボルネオ、ジャバ、バプオー、ニユー、シー  
 ランド、而シテ亞細亞ノ南東ノ數多キ他ノ鳥ト一緒ニ大洋洲ト名付ラ

レタル大ナル島ノ分チ形作ル

第四章

東西南北ノ指示

〔教若シモ汝ガ都府ニ於テ或ル場所ニ迄道ヲ問ウナラバ汝ガ夫ニ違スルベクドンナ街道ヲ通シテ過ギルベクカヲ話サル、國ニ於テ汝ガ或ル路ニ添テ行き或ハ或ル人ノ家ヲ過ギルベク指示サル、然シナガラ路ナキ森ニ於テ或ハ大洋ニ於テ汝が行クデアロウ所ノ方角ハ或ル斯様ナル仕方ニ於テ指示サレ能ハヌ〕旅人ガ北或ハ南ニ行ク船ハ塲合ガアリ得ル通り東或ハ西ニ帆走ル其處ニ四ツノ肝要ナル指示ガ有ル彼等ガ何デアルカ○〔生〕四ツノ肝要ナル指示ガ北南東而シテ西デアアル而ノ東西南北ト呼バル、○〔教〕然リ而シテ是等ノ四ツノ指示ノ外我々ガ彼等ノ間ニ他ノ者ヲ持ツ東而シテ北ノ間ノ半分道ガ東北デアアル南而

シテ西ノ間ノ半分道ガ南西デアアル方角ノ指示ガ時トシテ羅針盤ト呼バル、〔彼等ガ測量ノ羅針盤ニ付テ此ノ圖ニ於テ示サル、此ノ家ノ如何ナル部分ガ北ノ方ニアルカ〕教員ガ示ス汝ノ顔ヲ以テ夫ノ道ニ立テヨ而シテ羅針盤ノ指示ヲ私ニ話セ○若シモ私ガ北ニ迄私ノ顔ヲ以テ立ツナラバ私ノ脊ガ南ノ方ニアル私ノ右手ガ東ノ方ニ而シテ私ノ左手ガ西ノ方ニアル○〔教〕如何ニ人民ハ何レガ北デアアルカヲ知リナスカ○〔生〕羅針盤ニ由テ汝ガ願クハ我々ニ迄羅針盤ヲ記載スルデアロウカ〔然シナガラ羅針盤ナシニ語ル〕夫ガ容易クアル如何トナレバ正午ニ於テ太陽ガ南ニ於テアル然ルキニ私ノ陰ト而シテ都テノ陰ガ北ニ迄指示ス故ニ私ガ亦太陽ハ東ニ於テ昇リ而シテ西ニ於テ没スルヲ知ル而シテ若シモ私ガ昇ル處ノ太陽ニ迄私ノ右手ヲ以テ或ハ没スル所ノ太陽ニ迄私ノ左手ヲ以テ立ツナラバ私ノ顔ガ北ノ方ニアルデア

ロウ○(教)印度人ハ彼等ガ其處ニ其處ニ一ノ路或ハ家ガアラヌ處ノ森ヲ  
 通シテ夜ニ於テ旅シツ、アルキニ星ニ依テ彼等ノ路ヲ語ル其處ニ夫  
 ハ決シテ昇ラヌ尙ホ又沒マヌ所ノ北星ト呼レタル一ノ確斷ナル星ガ  
 アル夫ガ海ニ於テ船乗リ并ニ沙漠ニ於テ旅行人ニ何處ニ羅針盤ノ北  
 ノ指示ガ有ルカヲ精密ニ示ス而シテ其處ニ夫ノ二ツガ眞直ニ北星ノ  
 方ニ示ス所ノ北斗星ト呼レタル七星ガヌル最初ノ明カナル夜北方ヲ  
 見ヨ而シテ北斗星ヲ見出セ而シテ夫ニ由テ北星ヲ告ゲ北斗星ガ其處  
 ニ夫ガ時トシテ地平線ノ下ニ有ル所ノ至極ノ南ニ於テノ外此ノ國ニ  
 於テ或ル明カナル夜ニ見ラレ得ル○(生)然シナガラ時トシテ夜ガ曇ツ  
 テアル而シテ汝ガ星ヲ見能ハヌ如何ニ印度人或ハ夜ノ旅人が然ルキ  
 ニ知ラレザル森ニ於テ彼ノ道ヲ見出シ能フカ○(教)木ノ幹ニ感ズル  
 ニ由テ如何トナレハ苔ガ陰ノ場所ニ於テ好ム故ニ夫ガ一般ニ北ノ側

ニ於テ最モ厚ク生長スル左様ニ都テノ獵人樵夫而シテ印度人が木ノ  
 苔アル側ガ北方デアアルヲ知ル○地圖ニ於テ頂上ガ北底ガ南右手ガ  
 東而シテ左手ガ西デアアル

第五章

海或ハ大洋ニ付テ

大ナル而シテ廣キ海ガ地球ノ表面ノ殆ンド四分ノ三ヲ蓋フ若シモ汝  
 ガ河ト而ノ小サキ湖水ノ水ヲ唯見タナラハ汝ガ如何ニ廣キ大洋が見  
 ユルカヲ容易ク想像シ能ハヌ海ニ於テ外ニ水ハ眼ガ達シ能フ丈ケ左  
 様ニ遙カ各々ノ方角ニ於テ廣ガル或者ガ數日而ノ數週間出帆シ而シ  
 テ一ノ陸ヲ見ヌ唯空ヲ上ニ而シテ水ヲ下ニ恐ラクハ見ユニ於テ今而  
 シテ然ルキニ過ル所ノ外國ノ船ヲ以テ見ル○海ガ又甚ダ深ク並ニ廣  
 クアル或ル場所ニ於テ五里ヨリヨリ少ナカラズニ深ク夫ノ水ガ又鹽

デアル而シテ生水フワシユヤカキノ上ヨリモ彼等ノ上ニ泳ギ而シテ浮ブノ夫が多  
 クヨリ容易クアルノ程左様ニ重クアル。而シテ彼等ガ決シテ全ク静カ  
 デアラヌ波ガ絶コンスタントヘス轉ガリツ、アル而シテ暴風ニ於テ恐ロシキ高サ  
 ニ迄昇ル。沙ガ亦干ル而シテ溢ル、精ワシク云ヘハ毎日二度海岸ニ沿  
 テ昇ル而シテ降ル。小供ガ常ニ深サノ驚キニ付テ讀ムノ於テ感ゼラ  
 ル、夫ニ於テ大ナル鯨、英シキ斬殺而シテ珊瑚珠而シテ夫ニ付テ汝ガ學  
 バチバナヲヌ處ノ多クノ他ノ者ガ見出サル、○假令大ニ而シテ廣キ  
 海ガ都テ水ノ一面デアアルトハ雖モ、然シナガラ便利ニ向テ夫ガ海灣入  
 江、海峡ストレイト而シテ港ト呼レタル多クヨリ小サキ分チヲ以タル四ノ大ナル  
 大洋ニ迄分タレタ。我々チシテ彼等チ考ヘシメヨ。○二十二ペーシノ地  
 圖ニ於テ汝ガ大西洋、北冰洋、太平洋、印度洋、ノ四大洋ヲ見ルデアロウ。是  
 等ノ内テ太平洋ガ甚ダ最モ大キナル。○汝ガ英吉利カラ本平洋ニ

ニ迄船ニ於テ行クベク願ヒシト假定メヨ。最モ近キ路ガ北冰洋ヲ通シ  
 テ有ルデアロウ。然シナガラ汝ガ氷ノ爲メニ夫ノ道ニ行キ能ハザリシ  
 夫故ニ汝ハ夫ガ亞米利加大陸ノ終リノ南端ニ於テ有ル處ノホルンナ  
 ル岬ノ周圍ニ行カチバナヲヌ。岬ヲ出帆スルノガダブリング岬ヲ廻ル  
 コトト呼バル、汝ガ然ルキニ汝ノ船ヲ以テ太平洋ニ達スベクホルン  
 ナル岬ヲ廻ルベク持ツデアロウ。○若シモ汝ガ新約克カラ印度洋ニ迄  
 海ニ由テ行クベク願ヒシナラハ汝ガ喜望峰ケイプホープヲ廻ルデアロウ而シテ若  
 シモ汝ガ北冰洋ヲ見舞フベク願ヒシナラハ汝ガ其處ニ唯少カノ氷ガ  
 アルキノ終リノ夏或ハ初秋ニ於テ行クデアロウ如何トナレハ北冰洋  
 ハ毎冬凍ラサル、故ニ其處ニ夫ニ由テ汝ガ行キ能ヒシ所ノ二ツノ道  
 ガアル一ハノルウエート而シテグリーンランドノ間ノ開キタル海ヲ通  
 シテ而シテ他ノ者ガ亞米利加而シテグリーンランドノ間ニダビスノ海

峽ト而シテバフィンノ灣ヲ通シテ○汝が是ノ航海ニ於テ夫ハ氷ノ浮  
 ブ處ノ山デアアル所ノ多クノ氷山ヲ見ルデアロウ彼等が屢々北冰洋カ  
 ラ大西洋ニ迄漂流スル彼等ノ或者が甚ダ尊ク而シテ感ズベクアル六  
 十九ペーシニ於テ汝が一ノ畫ヲ見得ル○地圖ニ於テ詠メヨ而シテ汝  
 ハ太平洋ガ時トシテ大陸ノ内部ニ迄遙カアチラニ水ノ腕或ハ一面ヲ延  
 ハシツ、而シテ殆ンド二ツニ於テ彼等ヲ切リツ、陸ニ於テ茲彼處ニ  
 著シキ刻目即チ刻目ヲナスヲナシテ是等ガ腕或ハ刻ミ目ガ時トノ  
 海、時トシテ灣、而シテ時トシテ入江ト名付ラル、ヲ見ルデアロウ夫  
 ガ海ト呼バル、所ノ水ノ是等ノ一面ノ重ナル物ガ地中海、黒海、紅海、亞  
 刺比亞海、北海、バルチツク海、白海、而シテ支那海、黃海、日本海、チコスク海、  
 而シテカリビヤン海、デアアル是等ガ世界ニ於テ重ナル海デアアル紅海、黒  
 海、白海、而シテ黃海ノ名ガ水夫ガ是等ノ海ノ水ニ於テ時トシテハ氣附

タ所ノ色ノ確斷ナルヲノ爲ニ與ヘラル、○汝ハ地中海ガ一ノ側ニ於  
 テ歐羅巴而シテ亞細亞ノ間ニアル而シテ他ノ側ニ於テハ亞非利加ノ  
 間ニアルヲ氣附ル夫ノ名ガ陸ノ中央ニ於テト意味スル所ノ二ツノ  
 羅旬語カラ導カル、是ガ都テノ海ノ最モ名高キ者デアアルセントポ  
 ルガ夫ノ上ニ破船ヲ受テシ而シテ昔ノグリークト而シテ羅馬ノ詩人  
 ガ歌ニ而シテ小説ニ於テ名高ク夫ヲ爲シタ

第六章

海ノ枝ニ就テヨリ多ク

大洋ハ夫ガ其他或ル處ニナスヨリヨリ遙カシブラルター而シテハベ  
 ルマンデノ海峡ヲ通シテ陸ニ迄達スル地中海ト而シテ紅海ガ夫  
 故ニ夫ノ最モ長キ枝デアアル各々ニ迄ノ入口ガ甚ダ勇マシク而シテ  
 ノ如クニアル夫ガ高キ丘陵而シテ突出テタル峻坂ニ依テ見下サレタ

ル岩ノ絶壁ノ間ニ有ル茲ニ船ガハベルマ<sup>ムン</sup>デノ海峡ヲ通シテ紅海ニ入込ムベク赴<sup>キリシ</sup>キテアル汝ハ右ニ於テ夫ガ露出<sup>ムキダ</sup>シノ岩ノ如ク左様ニ木ナクアル所ノアデンノ打崩サレタル丘陵ヲ見ル○地中海而シテカリビヤン海ガ都テ海灣入江ハ最モ大ナル者デアアル然シナガテ海ノ枝ガ海灣而シテ入江ト名付ラル、カノ夫ガ夫ノ大キサノ上ニ屬シナサヌメキシコノ灣ガ白海、黒海、紅海、或ハ黃海ヨリモヨリ大キクアル而シテハドリン灣、ビスケト灣而シテベルガル灣ガ各々亦多クノ海ヨリハヨリ大キクアル然シナガテ其處ニタムパー灣或ハモビル灣而シテ多クノ他ノ灣ト而シテ合衆國及ヒ其他ニ於テノ灣ノ如ク左様ニ小サキ一ノ海ガアラヌ○バツフイン灣、ハドソン灣、フアンデー灣、デルオウオ灣、チセーピーク灣而シテビスケト灣ガ大西洋ノ水ヲ保ツ而シテ夫ノ枝デアアル○私ハ汝ガ地圖ニ付テ退屈サレヌデアロウヲ望ムヨリ屢々

汝ガ彼等ニ於テ詠メ而ノヨリ多ク汝ガ彼等ヲ吟味スレハスル程益々好ク退屈サル○如何トナレバ汝ガ決シテ汝汝ノ精神ニ於テ夫ノ地圖ヲ見能フ迄好ク或ル國ノ地理學ヲ理解シ能ハ<sup>アソグリスランド</sup>ン故ニ夫レ故ニ汝ハ夫ガ汝ノ日課ニ於テ記載サル、所ノ各々ノ場所ヲ地圖ノ上ニ指示ス夫ヲ夫ヲ規則トナスデアロウ己ナラズ尙ホ汝ガ地圖ノ上ニ都テ場所ヲ氣付ルデアロウ○汝ガ印度洋并ニ太平洋ノ上ニ北亞米利加ノ太平洋ノ海岸而シテ亞細亞ノ海岸ガ多クノ灣、入江而シテ海ニ依テ刻<sup>インテンデッド</sup>マル、ヲ見ル○然シナガラ南亞非利加、南亞米利加而シテ澳西太利亞ノ海岸ガ唯々僅カス様ナル刻ミヲ持ツ澳西太利亞ガカルベンタリヤノ夫ナル一ノ入江ヲ持ツ

第七章

航海海峡而シテ港

海が船ニ於テ有シ而シテ魯西亞ニ於テドソ河ノ口カラ亞米利加ニ於  
 テオソタリオナル湖水ニ迄海ニ依テ行クベク願ヒシト想像セヨ我々  
 ナシテ地圖ノ上ニ道ヲ跡付シ而シテドソ海及ビ海峡及ビ大洋ヲ通  
 シテ汝が過ギルベク持ツデアロウ○南東ノ歐羅巴ニ於テアヅフノ小  
 海ヲ見捨ル處デ汝が黒海ニ入込ムデアロウ黒海カラ汝ノ道ガボスボ  
 ラスト名付ラレタルコンスタンチノーブルニ於テノ名高キ海峡ヲ通  
 シテ有ルデアロウ然ルキニマーマラノ海ナル他ノ甚ダ小サキ海ニ迄  
 而シテ夫レカラダーダールズト呼レタル他ノ名高キ海峡ヲ通シテ  
 地中海ニ迄有ルデアロウ○夫ノ北ノ脇ニ於テ名高キ岩ガ立ツ所ノジブ  
 ラルターノ名高キ海峡ヲ過グル所デ汝ガ三十二ペーシノ大西洋ニ入  
 リ込ムデアロウ北方而シテ西方ニ迄是ヲ横切ル所デ汝ガ夫カラ汝ガ  
 セントローレンス河ノ口ニ入込ムデアロウ處ノセントローレンスノ

灣ニ迄ペールアイリスノ海峡ヲ通シテ來リ得シ其ノ河ニ上ル所デ而  
 シテキユベツク而シテモソトリールノ著名ナル都府ヲ過ギル所デ汝  
 ガ三十四ペーシノオソタリオナル湖水ニ入込ムデアロウ而シテニユ  
 ーヨーシノ内地ノ水ニ於テ汝ノ錨ヲ行カシメ得シ斯様ニ汝ハ舊世界  
 ノ中心カラ新約克ノ中心ニ迄帆走ルデアロウ○此ノ航海ニ於テ汝ガ五  
 ノ海峡ヲ通シテ過ギルデアロウ○汝ガ容易ク地圖カラ海峡ガ何デア  
 ルカチ私ニ告ケ能フ○海峡ガ二ツノ海或ハ大洋而シテ海入江或ハ灣ノ  
 如キ水ノ二面ヲ結付ル所ノ堀リ割リデアアル○航海ニ於テ記載サレタ  
 ル海峡ノ外ニ圖ニ於テ一見ガ許多ノ他ノ者ヲ汝ニ示ス○其處ニ彼等ガ  
 最モ近ク一緒ニアル處ノ亞米利加而シテ亞細亞ノ間ニ過ギルベク汝  
 ガビーリングノ海峡ヲ通シテ行クデアロウ○汝ガ大西洋カラハワイ  
 灣ニ迄行クベクダビスノ海峡ヲ通シテ出帆シ而シテハドソノ海峡ヲ通



シテハドソノ灣ニ迄出帆スルデアロウ○港ハ其處ニ船ガ碇泊シ而シテ暴風ノ暴烈カラ隱レ所ヲ見出シウル所ノ陸ニ由テ一部分取り圍マレタル水ノ或ル一面テアル次ノ半枚ニ於テ我々が亞非利加ノ南東ノ島ナルシルギユーレンノ陸ニ於テクリストマスノ港ニ於テ隠レタル船ヲ見ル

第八章

河湖、水、雨、而シテ雲ニ付テ

教河ガ大陸而シテ島カラ海ニ迄水ヲ絶ヘズ注ギツ、アル汝ハ然ル片ニ何故ニ海ガ満チタルヨリモヨリ多少得而シテ陸ヲ溢ラシ爲サヌカチ私ニ話シ能ウカ○(生)而シテ私ガ夫ハヨリ大ナル者ヲ供給スル所ノ泉而シテ小河而シテ小キ河ガ何故ニ空シク得ナサヌカチ訊問シウルカ○(第二)生私ハ私ガ話シ能ウト考ヘル如何トナレハ雲ハ河ガ海ニ迄

夫レヲ運ブ丈ケ左様ニ速カニ陸ニ迄海カラ水ヲ持チ來ス故ニ○(教)甚ダ能ク言ヒシ今私ハ如何ニ地球ノ水ガ絶ヘズ變化シ廻リツ、アルカナ汝ニ告グル間私ニ迄開ケヨ○河ハ溝而シテ堀ガ我々ノ街道而シ野ニ向テ溝デアル通り丁度陸ニ向テノ溝デアル河ハ汝ガ知ル夫ハ泉ニ由テ養ハル、所ノ丘陵ノ内ノ小河及ビ流水カラ彼等ノ水ヲ得ル而シテ泉ガ由テ養ハル、○(生)雨而シテ溶解シタル霰而シテ雪ニ○(教)而シテ雨、霰而シテ雪カラデアル○(生)雲カラ○(教)進ミガ是デアアル水ガ常ニ雨ノ後道ニ於テ土水カラノ如ク丁度海カラ蒸發シツ、アル此ノ蒸發氣ガ雲ト而シテ風ニ依テ持チ去ラル、雲ガ雨而シテ雪トシテ夫ヲ滴下ス雨ハ泉ヲ養ヒツ、泉ガ小河ヲ養フ小河ガ河ヲナス而シテ河ハ夫ガ地ヲ豊饒シ我々ノ春車ヲ廻ハナ而シテ我等ノ胸ニ於テ我々ノ遊船而シテ小船ヲ保ツタ後ニ海ニ迄水ヲ運ブ而シテ此ノ進ミノ全キ者、間ニ其

處ニ一滴ガ費ヤサレシ如何トナレバ都テガ大ナル而ノ廣キ海ニ迄ヨ  
 リ速カニ或ハヨリ遅ク再ビ夫ノ道ヲ見出ス故ニ○世界ニ於テ最モ大  
 ナル河ハ南亞米利加ニ於テアマゾンデアアルミシ、ツビー河ハ最モ長  
 キモノト考ヘラルベク慣レシ然シナガラ今亞非利加ニ於テノナイル  
 ハ夫ガ赤道ノ南數度ニ廣ガル所ノ大ナル湖水ニ於テ起ルノ夫ガ發  
 見サレタ故ニ夫ガ源カラ口ニ迄直線ニ於テ量ル所デナイル河ガ世界  
 ニ於テ最モ長クアルノ夫ガ顯ハル、○時トシテ河ノ滯ガ彼等ハ彼  
 等ガ海ノ方ニ流レ能フ前ニ滿サテバナナマ處ノ穴ヲ横切テ有ル斯様  
 ナル場所ニ於テ水ガ廣ガリ出ル而シテ上ノミシ、ツビー河ニ於テベ  
 ビンナル湖水ノ如ク斯様ナル湖水ヲ形作ル湖水ガ陸ノ内ニ有ル所ノ  
 水ノ一面デアアル彼等ノ或モノガ海ノ如ク左様ニ大キクアル然シナガ  
 ラ彼等ノ水ガ一般ニ眞水デアアル○二拾二三拾一或ハ三拾九ペーシヲ詠

メヨ而シテ汝ガ世界ニ於テ最モ大ナル眞水ノ湖水ヲ顯ハサレテ見ル  
 デアロウ北亞米利加ノ大湖水彼等ノ名ガ何ンデアアルカ彼等ノ四ツガ  
 合衆國而シテブリチス亞米利加ノ間ニアル國境ノ線ガ彼等ノ中央ヲ  
 通シテ走ル汝ハ第五ガ全ク合衆國ノ内ニアルヲ見ル○是等ノ湖水  
 ガ世界ニ於テ都テ眞水ノ三分ノ一ヲ保ツ彼等ガ彼等ニ於テ水ノ分量  
 ノ想像ヲ汝ニ與ヘルノ夫ガ出來難ク有ル程左様ニ深ク廣ク而ノ長  
 クアルミシ、ツビー河ガ一百年ニ於テ海ニ迄運ブ所ノ水ガ一度十分  
 ニ彼等ヲ滿スベク十分ヨリハヨリ多クアラヌデアロウ而ノ夫ガ今世  
 界ニ於テ都テノ河ニ於テアル所ノ水ハ若シモ彼等ガ虚空デアリシ而  
 ノ河ガ彼等ニ迄注ガレ能ヒシナラハ十分唯殆ンド半分滿サテ彼等ヲ  
 滿タスベク十分デ有ルデアロウ○セントローレンス河ガ是等ノ湖水  
 カテ海ニ迄水ヲ運ブ而シテ彼等ノ堤ヲ溢ラスノ而シテ彼等ノ周圍ノ

國ヲ住居シガタク爲スヲカラ彼等ヲ拒ク水ガシユビールオル及ビミ  
 ナガナル湖水カラヒウロンニ迄夫カラエリニ迄流レルオンタリ  
 オナル湖水ガエリナル湖水ノ水平面ノ下三百ヒートヨリヨリ多少有  
 ル○ナイヤガラ河ガエリナル湖水カラオンタリオ湖ニ迄水ヲ運ズ  
 降りニ於テ夫ガ恐ロシキ峻坂ヲ越ヘテ雷ノ如キ響ヲ以テ突キ入ル而  
 シテナイヤガラノ瀧ヲナス水ノ此ノ測ルベカラザル体ノ盛ナル流ト  
 而シテ高キ飛びハ夫ガ何處デモ見ラレベクアラヌ所ノ最モ大ナル顯  
 ノ一ヲ與ヘル人民ガ世界ノ都テノ部分カラナイヤガラノ瀧ヲ見ルベ  
 ク來ル

第九章

陸ノ區別ニ於テ

汝ガ水ノ區別ヲ勉強シタ我々ヲシテ今此ノ日課ニ於テ陸ノ區別ヲ考

ヘシメヨ○汝ガ其處ニ彼等ノ周圍ニ都テ流レル處ノ大洋ヲ以テ大陸  
 ト呼レタル陸ノ四ツノ大ナル塊リガアルヲ而シテ其處ニ島ト呼レ  
 タル水ニ由テ取捲レタル陸ノ多クヨリ小サキ部分ガアルヲ學ンダ  
 夫ニ付テ最モ大ナルモノガ澳西太利亞アル夫ガ時トシテ大陸ト呼  
 バル、一程左様ニ大キクアル○第五章ニ於テ汝ハ大洋ガ陸ニ迄張出  
 ス所ノ海、灣、入江、呼レタル多ノ枝ヲ持ツヲ學ビシ夫故ニ若シモ汝ガ  
 地圖ニ於テ注意シテ詠メルナラバ汝ハ陸ガ亦海ニ迄張出ス處ノ多ク  
 ノ岬即チ尖リヲ持ツヲ見ルデアロウ陸ノ是等ノ突出スル所ノ部分  
 ガ彼等ノ大サ而シテ形造リニ迄從フ所ア岬或ハ半島ト呼バル、○半  
 島ガ殆ント島ト意味スル委ク云ヘバ殆ンド然シナカラ全ク水ニ因テ  
 取捲レス陸ノ片若シモ汝ガ地圖ニ於テ氣ヲ附ケテ搜索スルナラバ汝  
 ガ多クノ半島ヲ見出スデアロウ亞非利加ガ大ナル半島アル水ガ地

中海而シテ紅海ノ間ニ僅カノ線ノ外夫ノ周圍ニ總テ有ル亞米利加ガ  
 カリビヤン海ニ因テ殆ンド二ツニ於テ切ラル、面シテ二ノ大ナル半  
 島ヲ造ル百一ペーシノ歐羅巴ノ北西ノ部分ニ於テノウエー而シテ瑞  
 典ガ半島ヲ形造ル左様ニ亦合衆國ノ南ノ部分ニ於テフロリダ而シテ  
 亞米利加ノ西ノ側ニ於テローアカリフォニアガナス○汝ガ規則トシ  
 テ世界ノ北ノ半分即チ北半球ニ於テ海岸ノ線ハ彼等ガ南半球ニ於テ  
 アルヨリハ甚ハダヨリ多ク入込マサル、コトヲ而シテ夫故ニ其處ニ  
 其處ニ終リノモノニ於テアルヨリハ以前ノモノニ於テ多クヨリ多ク  
 ノ海入江灣岬而シテ半島ガアルコトヲ氣附ケル○地峽ハ夫ガ陸ノ二  
 ツノ大ナル休テ繫ク所ノ陸ノ狹キ首デアル海峽ガ水ニ迄地峽カ陸ニ  
 迄アル所ノモノデアルスイスノ地峽而シテ亞非利加ニ於テ一ツ而シ  
 テ亞米利加ニ於テ他ノモノナルパナマノ地峽ガ世界ニ於テ二ツノ最

モ著シキ地峽デアル其處ニ我々が造ツタ所ノパナマノ地峽ヲ横切テ  
 鉄道ガアル而シテ佛蘭西人ガスイスノ地峽ヲ横切テ溝ヲ掘ツタ○茲  
 ニ手車ニ於テパナマノ鉄道ニ於テ乗ル處ノ旅人ガアル彼等ガ夫ハ汝  
 ガ記憶スル最初ノ木版圖ニ於テ論ゼラレシ處ノ富メル回歸線ノ植物  
 ノヨリ好キ見ヘテ持テ得ルコトノ爲メニ○次ノ半枚ニ於テスイスノ地  
 峽ヲ横切ルコトニ向テ以前ニ用ヒラレタル便利ノ畫ガアル此ノ地峽ガ  
 都テ砂地デアル而シテパナマガアル如ク茂タル植物ヲ以テ蔽ハル、  
 コノ代リニ夫ガ都テ登ラザル荒地デアル如何トナレバ夫ガ稀ニ或ハ  
 其處ニ決シテ雨降ラヌ故ニ○岬ガ海ニ迄突出スル處ノ陸ノ岬デアル  
 高キ而シテ岩ノ岬ガ高岬デアル島ノ如ク岬ガ決シテ數ヘラレナンダ  
 其處ニ左様ニ多クガアル○是等ノ僅カノ名ヲ汝ハ海岸ニ添ウテ詠メ  
 ルコトニ由テ世界ノ地圖ノ上ニ見出スデアロウグリンランドノ南ニ

フエアウエルナル、歐羅巴ノ北ニ北岬、亞非利加ノ西ニヴアードナル  
岬、亞非利加ノ南ニ喜望峯ケイフオンクワッドホーブ而シテ南亞米利加ノ南ニホーソナル岬等ヲ  
見出スデアロウ。

第十章

質易ノ都府而シテ港ニ付テ

質易ノ都府ガ其處ニ農夫、礦山師、製造人マユウフアクトエジス而シテ都テノ種類ノ商人ガ  
彼等ノ商品ヲ市場ニ送送ル而シテ其處ニ商人ガ買ヒ而シテ賣ル處ノ  
大ナル商賣ノ場所デアアル而シテ港ガ碇泊ニ向テ而シテ夫ハ此ノ商品  
而シテ產物ヲ取り而シテ運ブ所ノ船ノ荷積スルヲ或ハ荷チ下ストニ  
向テノ場所デアアル○其所ニ船ガ有ル所ノ大ナル港ノ都府ノ埠頭フキールアス而シ  
テ造船所ニ迄行キ而シテ夫ガ進ミツ、有ル處ノ物ヲ氣付ルウキヅトトノ夫ガ  
珍シカリカスクアル○汝ガ入船スル所ノ或ル船而シテ出船スル處ノ或ルモノ

彼等ガ丁度持來ブロードシタ所ノ積荷チ外ニ置ク所ノ或モノ而シテ彼等ガ運  
去ルベク行キツ、アル所ノ是等ヲ取ル所ノ他ノモノヲ見ルデアロウ  
夫ガ甚ダ多忙ナル顯レデアアル然シナガテ外國ノ港ニ迄彼ノ最初ノ出  
帆スルトニ於テ一ニ迄顯ハサレタル顯レガ確斷ニ若シモ夫ガ亞細亞  
ノ港デアアルナラバ尙ホヨリ多クノ著シクアル船ノ用意、海岸ニ於テ家  
人民ノ衣服而ノ仕方が都テ亞米利加人ニ迄左様ニ奇妙ニ見ユル○新  
約克ガ新世界ニ於テ最大ノ貿易ノ都府デアアル而シテ夫ノ港ガ最も多  
ク諸船ヲ以テ群集サル、夫ガ亦最も美シクアル夫ニ於テ汝ガ世界ノ  
各々ノ部分カラ都テノ國民ノ旗ヤ而シテ船ヲ見得ル其處ニ亦汝ガ或  
船ガ丁度支那カラ上陸シタ所ノ茶ノ箱、絹、而シテ炮銃、西印度カラ  
レモン、橙、而シテ鳳梨、ブラシルカラ珈琲、キユバカラ砂糖、歐羅巴  
カラ絹、小綴、金物、刀物、懷中時計、寶玉等ノ如キ商品ノ都テノ種類ノ外ニ

地中海カラ無花菓而シテ他ノ乾シタル果物ト共ニ乾葡萄、葡萄、而シテ  
 覆盆子<sup>カルラン</sup>ヲ埠頭ニ於テ大ナル積重ニ於テアリツ、見ウル○夫ニ反シテ  
 狭キ街道ガ綿、唐モロコシ<sup>プロビシ</sup>食物、米、麻、煙草、毛皮、材木、船道具、石腦油而シテ  
 我々ノ儉約ナル而ノ企テル人民ガ費ヤスベク持ツ而シテ我々ノ商人  
 ガ夫ハ丁度上陸サレタ所ノ是等ノ眞ノ品物ニ向テ貿易ニ於テ外國ニ  
 送リツ、アル所ノ産物而シテ都テノ種類ヲ以テ蔽ハレタル藏カラ引  
 來ル所ノ車而シテ荷車ヲ以テ集メラル、○世界ニ於テ三ツノ重ナル  
 貿易ノ港ガ英吉利ニ於テロンドン而シテリバプール而シテ亞米利加  
 ニ於テニユーヨークデアル○我々ノ貿易ノ都府而シテ港ノ六ツノ最  
 モ要用ナルモノガボストン、ニユーヨーク、ヒヤデルヒヤ、バルチモニア  
 ニユオルリオンズ而シテ桑港<sup>サンフランシスコ</sup>デアルボストン而シテバルチモニアガ  
 汝ガ三十五ペーシノ地圖ニ於テ見ル通り海ノ枝ノ上ニ置ガル、ニユ

ヨークガハドソン河ノ口ニ於テアルヒヤデルヒヤガデラウエヤニ於テ  
 アルニユーオルリオンズガミシ、ツビー河ノ口ニ近クアル而シテ同  
 名ノ入江ニ於テサンフランシスコガ世界ニ於テ最モ美シキ港ノ一ヲ  
 持ツ

第十一章

山<sup>モンテネ</sup>而シテ火山<sup>ボカノリス</sup>ニ就テ

夫ニ付テ陸ヨリヨリ高キ陸ノ部分ガ丘陵<sup>ハイム</sup>デアル若シモ甚ダ高キナラ  
 ハ夫ガ山デアル陸ガ平坦<sup>ズレ</sup>デアルキニ我々ガ夫ヲ平原ト呼ブ若シモ平  
 原ガ大キク而シテ草多ク而シテ木ナシニアラナラハ夫ガ廣野<sup>ズレ</sup>デアル  
 若シモ都テノ方角ニ於テ大ナル距離ノ間夫ニ於テ成長スル處ノ何ニ  
 モチ持タズニ砂ガチナラハ夫ガ砂漠<sup>サハラ</sup>デアル二ツノ山或ハ二ツノ丘陵  
 ノ間ノ場所ガ谷<sup>バレー</sup>デアル○陸ノ大ナル高マリガ屢々種々ノ高サニ於テ

不規則ナル線ニ於テ長キ距離ニ廣ガル<sup>イレキニシテ</sup>斯様ナル高マリガ山脈即チ鎖<sup>チエンス</sup>ト呼バル、其處ニ山脈ノ部分ガ近所ノ部分ヨリヨリ高ク高マル處ニ彼等ガ峰ト呼バル、○山脈ノ高キ部分ノ多クガ今燃ル處ノ山即チ火山デアル或ハ明カニ有ツタ○茲ニメキシコニ於テ立派ナル雪ヲ看タル山ナルオリザバノ峰ノ畫ガアル夫ノ火ガ今消ヘタ併シナガラ汝ガ夫ニ於テ夫ハ烟筒デアリシ所ノ其ノ大ナル穴ナル火山口或ハ夫ニ於テ火而シテ烟燒穀而シテ灰而シテ燒石ガ出來ルベク慣レシ所ノ場所チ見ル其處ニ夫ハ夫チ見ルベク丁度登ツタ所ノ二人ノ旅人ガアル汝ガ嘗テ時トシテブリムストーント呼レタル硫黃ヲ見タカ<sup>サレソア</sup>恐ラクハ汝ガ見シ所ノ眞ノ片ガ或ル消エタル火山ノ口カラ來リシ○亞細亞ニ於テヒマレー山脈チ見出セ此ノ山脈ガ世界ニ於テ最モ高クアル併シナガラ最モ長キ山脈ガ亞米利加ニ於テアル汝ハアンデス山ガパタゴニ

ヤニ於テ高マリ而シテ南亞米利加ノ全キ長サヲ通シテ三千里ヨリヨリ多クノ間北方ノ方角ニ於テ走ルヲ氣付ル地峽ニ於テ彼等ガ屈ム而シテ彼等ガ續ケル所ノ北西ノ方角ニ於テ亦北亞米利加ノ全キ長サヲ通シ他ノ名ノ下ニ放タル、是等ノ山ノ或ルモノ、峰ガ假令彼等ガ赤道ニ近ク而シテ其處ニ其處ニ永久ノ夏ガアル所ノ熱キ國ニ於テアルトハ雖モ然シナガラ彼等ノ頂上ガ常ニ雪ヲ以テ蓋ハル、一程左様ニ高クアルメキシコキートーボゴタ而シテ他ノ亞米利加ノ都府ガ彼等ノ隣國ノ雪山カラ氷ヲ以テ供給サル、其處ニ頂上ニ於テ冬ガアル而シテ底ニ於テ夏ガアル如何トナレハ麓ニ於テ汝ガ葡萄、橙、橄欖、鳳梨、而シテ他ノ快ヨキ果物并ニ最モ輝タル而シテ美シキ花ヲ大ナル十分而シテ茂リニ於テ生シツ、見ル故ニ○コトハツキシガ亞米利加ニ於テ最モ高キ火山ノ一デアアル夫ガキートーノ名高キ都府カラ遙カナラ

ズエクエドアニ於テアンデスノ峰ノ一デアル夫が一萬八千八百七十  
 八ヒート高クアル而シテ假令其ノ麓ガ永久ノ夏ノ緑リニ於テアルト  
 ハ雖モ夫ノ頂上カ絶ザル冬ノ土地ニ於テアル夫ガ恐ロシキ火山デア  
 ル夫ノ破烈ノ一ニ於テ半里高キ焰而シテ燒石ノ圓柱チ上ニ送タリノ  
 夫ガ云ハル、而シテ夫ノ轟聲而シテ破烈ガ一百里ヨリハヨリ多クノ  
 距離ニ於テ聞カレタ火山ガ時トシテ多クノ年燃エタリノ後消ヘル火  
 山ノ内ノ火ガ最モ堅キ岩ヲ溶スベク十分熱クアル而シテ若シモ一ガ  
 破烈スルキニ夫ハ夫ガ山ノ側ニ落チ而シテ轉ガル處デ時トシテ夫ノ  
 火ノ進ミニ於テ家、田地、村而シテ都府ヲスベテ彼等住民ト共ニ吸込ム  
 所デ焰ノ溢レトナル所ノ此ノ解ケタル者ノ量ルベカラザル圓柱チ投  
 出ス○内部ノ大ナル高メテレタ土地カ時トシテ呼ル、如ク亞細亞ノ  
 大ナル中心ノ平地即チ平地ガ夫ノ山ノ峽路、深キ峻坂而シテ恐ロシキ

割レ目ニ向テ世界ニ於テ最モ大ナル而シテ最モ名高クアル○畫ニ於  
 テ三十三ヒートノ廣キ割目ヲ飛ブ所ノ熊ニ依テ獵レタル牡鹿ガアル  
 彼ノ追手ノ一ガ轉ゲ込<sup>ダムアルドイン</sup>ンダ我々ガ斯様ニ遙カ勉強シタ如ク陸ノ都テ  
 斯様ナル區別ガ自然ノ區別ト呼バル、其處ニ帝國、王國、共和政治、國、郡  
 一府ノ領地而シテ區分ノ如キ斯様ナル他ノ區別ガ人ニ由テ爲サル、  
 是等ガ政治上ノ區別ト呼バル

第十二章

境界ニ付テ

國即チ國ノ境界ニ由テ我々ガ夫ハ夫ノ境ヲ印シ夫ノ形ヲ示シ而シテ  
 其ノ容クヲ定メル所ノ夫等ノ線ヲ意味スル○汝ハ如何ニ遊歩場ガ界  
 ヒサルカチ私ニ告ゲ能ウカ○教員チシテ四章ノ東西南北點ト而シ  
 テ壁、尖板、生牆、圍ヒ、溪、小河、路等ニモセヨ境界ヲ顯ハサシメヨ而シテ然



ルキニ唯四ツノ側ニ於テ北ニ於テ始<sup>ベギン</sup>メル所デ而シテ東ニ迄然ルキニ南而シテ西ニ迄行ク所デ書生ヲシテ彼等ヲ名指サシメヨ是ガ夫ニ於テ境界ガ常ニ名付ラル、デアロウ所ノ北東南西ナル順序デアル○若シモ汝ガ是等ノ境界ヲ横切ルベク有リシナラバ汝ハ夫ガ他ノ或者ニ迄屬スル處ノ陸ノ上ニ有デアロウ夫ガ都テノ國ヲ以テ丁度左様ニア<sup>サムボシ</sup>ル彼等ハ都テ夫ハ仮令彼等ガ圍ヒ而シテ濠ニ依テ印サレヌト雖モ丁度左様ニ明<sup>ダチ</sup>カニ界而シテ線ニ由テ印サル、處ノ彼等ノ境界ヲ持ツ若シモ河、湖水、或ハ山脈ガ二ノ國ノ間ニアルナラバ境界ガ一般ニ河、或ハ湖水ノ中央、或ハ山ノ頂上デア<sup>セテ</sup>アル其處ニ端洲ノ界ヲ印スベク河、湖水、或ハ大洋ノ如キ斯様ナル一ノ自然ノ境界ガアラヌ時ニ彼等ノ境界ガ森ヲ通シテ走ラル、而シテ木或ハ石ノ柱ガ境點トシテ茲其處ニ備ヘラル、谷衆國ノ境界ガ東カラ西ニ迄三千里而シテ北カラ南ニ迄一千五

百里ヨリモヨリ多ク廣ガル而シテ仮令此ノ國ガ左様ニ大キクアルト雖モ夫ノ境界ガ國ニ於テ農夫ノ陸或ハ都府ニ於テノ地區ノ境界ガアル如ク丁度左様ニ好ク決定<sup>デターミシ</sup>サル、○茲ニサスカツチヨソノ谷カラ返ル所ノ獵ノ仲間ガアル彼等ガ線ヲ横切り而シテ境界ノ點ヲ喜<sup>トイ</sup>ビツ、アル彼等ガ彼等ノ自身ノ國ニ迄返ルベク左様ニ喜ンデア<sup>トイ</sup>ル

第十三章

世界ノ地圖ニ於テ吟味<sup>レツ</sup>而シテ勉強

右ノ章ハ問答タルヲ以テ之ヲ畧ス

第十四章

地圖ニ於テ用ヒラレタル線ニ付テ

汝ハ頂上カラ底ニ迄而シテ側カラ側ニ迄横切テ走ル所ノ線ヲ地圖ニ於テ見ル其處ニ地球ノ表面ニ於テ見ラレベク一ノ斯様ナル線ガアラ

又丁度其處ニ二ノ府下或ハ二ノ國ノ間ニ見ラレベク一ノ境線ガアラ  
 又如ク然シナガラ是等ノ線ガ何處ニ場所ガアルカチ告ゲルコニ於テ  
 便利ニ向テ用ヒラル、ホアイヌスタニス「假令ハ若シモ世界ノ他ノ側カラ丁度到着シタ  
 ル船司シカピテンハ夫ニ於テ一人ガ汝ノ父而シテ母ガ北緯四十度而シテ西經三  
 十五度ニ於テ歐羅巴ニ迄行キツ、アリシ所ノ一ナル船ニ出逢フタリ  
 キコチ而シテ甲板上ノ都テガ安全ニアリシコチ評判スルデアロウナ  
 ラバ汝ガ圖ニ於テ何處ヲ詠メルベクカチ知ルデアロウ而シテ丁度汝  
 ノ兩親バイレンツガ有リシ處チアヅールズ島ノ西僅カノ路ト考ヘ能ヒシ」○夫ニ  
 付ニ汝ガ四章ニ於テ學ビシ處ノ北星ノ丁度下ニ最モ遙カ北ニ此ノ圓  
 キ地球ノ點ガ北極ト呼ハル、而シテ夫ニ迄直徑ニ反對シタル點ガ南  
 極デアアル地球ノ中心チ通フシテ過グル處ノ而ノ二極チ繋グ所ノ線ガ  
 夫ノ廻リニ夫ガ各々二十四時間ニ廻ル所ノ地球ノ軸デアアル汝ガ記憶

スル夫ハ晝而シテ夜チ引起ス所ノ夫ハ夫ノ軸ニ於テ地球ノ此ノ廻轉  
 デアル○二極ノ間ノ半分道ニ東カラ西ニ迄地球ノ廻リニ過ギル所ノ  
 想像線イマジンナリガ赤道ト名付ラル、夫ガ北而ノ南半球ト呼レタル二ツノ半分  
 ニ迄地球チ分ツ汝ガ二章ニ於テ半球ニ付テ學ビシ○夫ガ赤道ト平行  
 シテアル所ノ線ガ緯度ノ平行線ト呼ハル、場所ノ緯度ガ赤道カラ夫  
 ノ距離デアアル赤道ノ北ノ場所ガ北ノ緯度ニ於テアル赤道ノ南ノ場所  
 ガ南ノ緯度ニ於テアル○赤道カラ各極ニ迄ノ距離ガ度ト呼レタル九  
 十ノ一樣ナル部分ニ迄分タレ而シテ斯様ニ九十度ト書カル、○汝ガ  
 亦畫圖ノイキニテニ於テ而シテ地圖ニ於テ他ノ線チ見ル彼等ガ赤道チ横切テ北  
 而シテ南ニ走ル是等ノ都テガ各極チ通シテ過ギル而シテ經度ノ子午  
 線ト呼ハル、○我々が英吉利ノグリーンウイチノ子午線カラ或ハ合  
 衆國ノワシントンカラノ經度チ算ヘル經度ガ此ノ子午線カラ東或ハ

西ノ度ニ於テノ隔リデアル「夫ノ西ノ都テノ場所ガ西經ニ於テアル」圖ノ側ニ於テノ畫圖ガ緯度ヲ指示ス頂上而シテ底ニ於テノ是等ガ經度ヲ指シス○畫圖ハ夫ニ付テ汝ガ知ルベク願ウデアロウ處ノ他ノ線ヲ汝ニ示ス「汝ガ赤道ノ各方ニ二ツノ點線ヲ見ル」是等ガ回歸線デアル「巨蟹宮ノ回歸線ガ赤道ノ北二拾三度半デアル而シテ磨羯宮ノ回歸線ガ赤道ノ南ニ同シ距離ニアル○汝ガ亦極ニ近ク二ツノ他ノ點線ヲ見ル北極ニ近キ北方ノ環線而シテ南極ニ近キ南方ノ環線ヲ見ル」是等ノ二ツノ環線ガ夫ノ極カラ各二十三個二分ノ一度デアル回歸線ガ赤道カラアル如ク丁度左様ニ遙カニ

第十五章

氣候、產物、而シテ人ノ職業ニ付テ

汝ハ此ノ言ヒ顯ハシノ唯ノ說話カ其處ニ自然ニ各國ノ氣候夫ノ土地

ノ產物而シテ夫ノ人民ノ職業ノ間ニ著シキ而シテ自然ノ屬スルコトガ有ルコトヲ見ル○是ガ大ナル要用ノ主意デアル「汝ガ夫ヲ了解シ而シテ夫ハ若シモ汝ガ此ノ日課ニ迄注意ヲ拂ウデアロウナラハ仕事ノ地理學ノ分チヲ支配スル處ノ自然ノ夫等ノ法ニ付テ或ル物ヲ學ブベク十分全ク老クアル○氣候ニ係ツテ「國ノ氣候ニ由テ我々が熱サ或ハ寒サ濕リ或ハ乾キ等ノ夫ノ度ヲ意味スル」我々が我々の職業而シテ樂ミニ於テ氣候ニ由テ支配サル、ノミナラズ尙又總テノ植物而シテ動物ノ習慣ガ夫ニ由テ支配サル、「我々の習慣、我々の着物、而シテ自然ノ見エガ冬カラ夏ニ迄如何ニ異ツテアルヨ○是等ノ二ツノ氣候ガ同シ場所ニ於テ唯々種々ノ氣候デアル」而シテ假令汝ハ如何ニ一國ノ氣候ガ他ノモノ、氣候カラ異ナルカ如何ニ土地ノ產物ガ變シ而シテ人民ノ職業ガ變ズルカヲ見ルベク旅シ得ナンダト雖モ然シナガラ家ニ於テ止マ

リ而シテ氣候ヲ氣付ルコトニ由テ汝ハ氣候ガ勞ニ感<sup>イソフリコエンス</sup>シ而シテ植物并ニ動物ニ感<sup>イソフリコエンス</sup>シナスコトヲ見能フ○春ニ於テ木ガ芽出シ花ガ咲キ燕ガ來リ鳥ガ歌ヒ、配遇シ、而シテ造ル而シテ都テ自然ニ活潑デアアル人民ガ植付而シテ種傳キツ、アル○日ガヨリ長クナリ天氣ガヨリ暖カニ得ル氣候ガ變シク汝ガ夏ノ而シテ蓄薇ノ中心ニ於テアル萬物ガ如何ニ違ツテ有ルヨ<sup>リ</sup>、<sup>ハリス</sup>人ガ野ニ於テアル鳥ガ解<sup>カ</sup>シ而シテ彼等ノ巢ヲ見捨テベク始メル蕾ガ花カラ果實ニ迄過ギタ而シテ地理學者ガ假令陸ニ於テ外國人ト雖モ路傍ノ上ニ人民ノ職業ニ由テ唯數年ノ氣候ヲ汝ニ話スデアロウ○再ビ其處ニ變化ガアル日ガヨリ短ク而シテ夜ガヨリ寒ク得ルベク始マル<sup>ル</sup>燕ガ他ノ氣候ニ迄行ヒタ雪ガ落チタ而シテ森ガ裸デア<sup>ル</sup>林檎ガ集ノラル、男子而シテ女子ガ實ヲ取ツ、行ク而シテ各々ノ人ガ夫ハ雪ノ夫ノ上衣<sup>マント</sup>而シテ水ノ一面ヲ以テ都テ戶外ノ喜<sup>ホシ</sup>ビノ上ニ

妨<sup>サマ</sup>ゲチ置キシ而シテ汝ノ氣候ガ變シク而シテ夫ト共ニ職業ガ變<sup>シ</sup>ク○<sup>コト</sup>ヲ再ビ汝ニ記臆スル所ノ冬ニ向テ多忙ニ用意シツ、アル○斯様ニ汝ハ氣候ノ上ニ職業ノ属スルコトヲ見ル而シテ如何ニ人民ノ職業ガ同シ場所ニ於テサヘモ變ズルカヲ見ル彼等ガ遙カ<sup>コト</sup>離レタル國ニ於テ甚ダヨリ多ク變シナス○氣候ガ多ク<sup>シ</sup>事情ノ上ニ属スル併シナガラ或々ガ此ノ章ニ於テ唯夫ハ夫ヲ支配スル所ノ重ナル事情而シテ委シク云エハ夫ハ汝ガ知ル所ノ赤道カラノ隔リデアアル所ノ夫ノ緯度ヲ考ヘルデアロウ<sup>ル</sup>規則トシテ赤道ガ近クレハ近クアル程氣候ガ益々暖カニア<sup>ル</sup>夫故ニ極ニ於テ其處ニ一ノ夏ガアラス夫ガ都テ冬デアアル而シテ赤道ニ於テ其ニ一ノ冬ガアラス夫ガ都テ夏デアアル○産物及び職業而シテ今如何ニ各國ノ産物ガ夫ノ氣候ニ依テ感ゼラル、カ而シテ夫故ニ夫ノ住民ノ勉強<sup>イソフ</sup>ガ感ゼラル、カヲ見ルベク我々ヲシテ北極土地ニ迄赤

道カラ<sup>ジョルチ</sup>地圖ノ旅チナシ而シテ土地產物而シテ道ニ依テ人民ノ職業ヲ  
 吟味<sup>エキザミン</sup>セシメヨ○願クハ二十二ペーシノ地圖ノ上ニ詠メヨ「汝ハアマ  
 ン河ガ赤道ニ於テ大西洋ニ入込<sup>イム</sup>テ而シテパンガ夫ノ口ニ於テアル  
 一チ見ル」我々チシテ其處ニ上陸シ而シテ國ニ於テ詠メシメヨ植物ガ  
 茂リテアル森ガ入込<sup>イム</sup>ミ難クアル木ガ蔓チ以テ一緒ニ編マル、而シ  
 テ彼等ノ枝ガ鷄哥<sup>インゴ</sup>而シテ猿チ以テ活潑ニアル」人民ノ或モノガ樹膠ノ  
 木カラ樹膠チ集メツ、アル」或者ガ藍靛チ耕シツ、或者ガ西穀米チ而  
 シテ他ノ者ガ珈琲而シテ砂糖チ耕シツ、アル」如何トナレハ都テ是等  
 ガ其ノ國ノ國產ノ產物ノ中ニアル故ニ」其處ニ太陽ガ常ニ六時ニ於テ  
 昇リ而シテ没スル日而シテ夜ガ一樣デアル彼等ガ其處ニ一ノ冬チ持ツ  
 ク而シテ夫ガ長キ年種蒔ク時并ニ收納時デアル○我々チシテ次ニキ  
 ユハニ迄行カシメヨ「我々ガ海ニ由テ行カチバナラヌ」キユバガ亦回歸

線ノ内ニアル」夫ハカンサーノ回歸線而シテカプリコーンノ回歸線ノ  
 間ニアル所ノ都テ場所ガ二ツノ點線チ見ヨ熱帶ニ於テアル而シテ其  
 處ニハ熱帶ニ於テ一ノ冬ガアラヌ」尙ホキユバガアマヅン河ヨリ赤道  
 カラヨリ遙カデアル而シテ夫ノ氣候ガ上陸スル一ニ於テ汝ガ速カニ  
 見出スデアロウ如ク稍違ツテアル」汝ガ働キニ於テ一ノ樹膠ノ集メル  
 人上着帽子、而シテ都テ輝キタル青ノ下股引チ以タル一ノ藍靛チ植付  
 ル人チ見出ヌデアロウ併シナガラ汝ハ汝ガ左様ニ多ク珈琲ノ植付所  
 ガ有ラヌトハ雖モパンニ付テ見シヨリ甘蔗ノ澤山ヨリ多クノ野チ見  
 ルデアロウ」キユハニ於テ汝ハ晝而シテ夜チ不同ト見出スデアロウ然  
 シナガラ彼等ガ我々チ以テアルヨリモ左様ニヨリ少カ○キユバカラ  
 我々チシテ南カロリナノチヤレストンニ迄行カシメヨ「入江ノ流レガ  
 我々チ添ウテ助ケルデアロウ○此ノ流レガ大洋ニ於テ河ノ如クア

ル夫ガミシ、ツピー河ノ如ク左様ニ速カニ而シテ左様ニ百倍丈ケ大  
 キクアル夫ノ水ガ濃キ青デアアル而シテ汝ハ汝ガ添ウテ過ギルニ從ツ  
 テ各方ニ於テ彼等ト而シテ水ノ間ニ區別ノ線ヲ見能フ此ノ旅ニ於テ  
 汝ハ我々ガカンサーノ回歸線ヲ横切り而シテトリツド即チ熱帶ヲ見  
 捨テ熱帶ハ熱ト意味スル而シテ北暖帶ニ入込ムデアロウト氣付ル汝  
 ガ此ノ帶ニ於テ住居スル夫ガ北方ノ環線ト呼レタル他ノ點線ニ迄都  
 テノ路廣ガル○暖帶ニ於テ都テノ場所ガ夏ト而シテ冬ヲ待ツ而シ  
 テ四季ニ迄年ヲ分ツ○南カロリナガキユバヨリ赤道カラヨリ遙カニ  
 アル而シテ夫ノ氣候ガ夫故ニヨリ寒クアル假令夫ガ尙ホ甚ダ柔ナル  
 冬ヲ持ツベク赤道ニ迄十分近クアルト雖モ○南カロリナノ產物而シ  
 テ勉強チ吟味スルニ於テ汝ガ其處ニ一ノ砂糖而シテ一ノ珈琲ノ植  
 付所ヲ見出サヌデアロウト如何トナレハ夫ノ氣候ガ各々ノ生長ニ迄適

セラレヌ故併シナガラ汝ガ夫ニ向テ夫ノ氣候ガ感伏スベク適セラル  
 、所ノ綿而シテ米ノ產物ニ於テ手廣ク係ハサレタル夫ノ人民ヲ見出  
 スデアロウト○陸ニ依テ我々ノ旅ヲ取り而シテ尙ホ北方ニ於テ旅スル  
 所デ我々ハ我々カバルチモニアニ迄得ルキニ由テ我々ノ氣候ガ米或  
 ハ綿或ハ我々ガ尙我々ノ旅ノ上ニ氣付タ所ノ國產ノ或物ガ赤道カラ  
 此ノ隔リニ於テ耕サレ能ワシ程左様ニ變シタヲ見出スデアロウト  
 而シテマリイランドノ重ナル產物ガ小麥而シテ烟草デアアル而シテ夫  
 故ニ彼女ノ人民ノ耕作ノ勉強ガ重ニ是等ノ國產ト結付ケラレ而シテ  
 米、綿或ハ砂糖ヲ以テ結付ケラレヌヲ見出スデアロウト○北ノ方ニ尙ホ  
 ヨリ遙カニ進ム所デ我々カ其處ニ農夫ノ氣付ケカ重ニ穀物ノ生長而  
 シテ貯ノ高メルニ迄向ケラル所ノ氣候ニ迄來ル○ボストンノ隣リ  
 ニ於テニユーイングランドニ達スル所デ我々カ其處ニ左様ニ長キ而

シテ嚴シキ冬而シテ夫ニ迄汝ノ注意ハ我々カアマゾン河ヲ見捨シ  
 以來呼出サレタ所ノ大ナル國產ノ何ニモガ利益ニ耕作サレ能ハソ  
 程左様ニ變シタル氣候ヲ見出スニユーイングランドノ土地ハ人民ノ  
 多クカ勉強ノ他ノ枝ニ迄依頼スルコト程左様ニ乏シク生ズル」或者ガ製造  
 ニ迄或者カ海ニ暮スコトニ迄求メル或者ガ池カラ氷ヲ集メ而シテ彼  
 等ノ米、砂糖、珈琲、西穀米、樹膠等ニ向テ交易ニ於テ熱キ國ニ迄夫ヲ送リ  
 出セシ夫ハ是ヲナス所ノ夫等ハ夫カ貿易ノ進ミト呼バル、所ノモノ  
 ニ於テ關ハサル、○貿易ガ商人ニ依テ運バル、夫ガ大ナル事務デア  
 ル船ノ數千而シテ人民ノ數百萬ガ世界ノ上ニ都テ夫ニ於テ關ハラサ  
 ル、○メーンニ於テノ如ク或者ガ森ニ迄行キシ而シテ彼等ガラムベ  
 リングト呼レル所ノモノニ於テ委ク云エバ付テ船ヲ造ルベク材木ヲ  
 得ルコトニ於テ而シテ他ノ目的ニ向テ冬ヲ費ヤス○赤道カラ此ノ距離

ニ於テ汝ガ辛フシテ森ニ於テ汝ガアマゾン河ノ谷ニ於テ見シ所ノ植  
 物或ハ動物ヲ加之見出ス而シテ其處ニ夫ハ二國ノ人民ニ迄通例ニア  
 ル所ノ單ナル職業ガ辛フシテアル人間ノ職業ノ上ニ氣候ノ結果ガ左  
 様ニ著シナル○我々が北方ニ我々ノ旅ニ於テ旅スルニ從ツテ植物  
 ガ益々限ラレテ而シテ動物ガヨリ多ク希レニ成ル我々が北ノ廻線ニ  
 迄來ル迄我々ハ今夫カ我々が赤道カラ我々ノ隔リヲ増セシニ從ツテ  
 益々寒クナリツ、有ツク所ノ暖帶ヲ見捨ル而シテ寒帶ニ入込ム茲  
 ニ氣候ガ木デサヘモガ消滅シクコト程左様ニ寒クアル地ガ都テノ年表  
 面ノ少カノ寸ノ内ニ凍ラサル、雪ガ夏時ニ於テスラモ落ナル而シテ  
 動物ガ都テ冬ニ於テ白ク變ズル夫ガ左様ニ寒クアル○極夫自ラニ於  
 テ日ガ六ヶ月長クアル夫故ニ世界ノ此ノ部分ニ於テ年ガ唯一日一夜  
 カラ成立ツ汝ハ如何ニ長ク日而シテ夜赤道ニ於テアルカヲ記懸シ

ナスカ○是等ノ寒帶ノ地方ニ於テ氣候ガ彼女ノ生産ヲ生ズルベク地球ヲ禁ズル而シテ夫ハ其處ニ背ンズル所ノ強キエスコエモ一ガ海而シテ空氣ニ迄眺メル而シテ生活ニ向テ而シテ土地ニ迄ナク○畫ニ於テ汝ハ彼等ノ職業ノ一ト而シテ住民ノ一般ノ風習ヲ見ル○若シモ汝ガ是等ノ日課ヲ學ビ而シテ夫ノ上ニ再案スルデアロウナレバ汝ハ夫ガ今汝ニ迄要用デアロウ所ノ多分ヲ而シテ若シモ汝ガ成長スルキニ左様ニ尙ホヨリ多クヲ學ンダデアロウ其上若シモ汝ガ二十二ペーシノ圖ニ於テ見ルデアロウナレバ汝ハ汝ガ都テ此ノ疑問ヲ返答スベシ充分學ンダヲ見出スデアロウ○今若シモ汝ガ正シク都テ是等ノ疑問ヲ答エタラバ汝ハ殆ンド地理學者デアアルデアロウ如何トナレバ丁度世界ノ地圖ニ於テ見ルニ由テ汝ハドンナ國ガ暖カナル氣候ヲ持ツカ而シテドンナ國ガ寒サヲ持ツカヲ話シ能フ故ニ然ルキ

ニ國ノ氣候ヲ知ル所デ汝ハ夫ノ國産ノ産物ニ付テ或者ヲ而シテ夫ノ住民ノ重ナル勉強ノ職業ヲ話シ能フ是等ノモノヲ了解スル所デ汝ハ世界ノ種々ノ國ニ付テ明カニ勉強スベク用意シテアル

北亞米利加

第十六章

一般ノ吟味

世界ノ都テノ部分ノ内デ北亞米利加ハ汝ニ迄最モ多ク大切ニアル如何トナレバ夫ニ於テ汝自身ノ國ガ保タル、故ニ併シナガラ汝ハ委シキ話シニ於テ我々ノ國ニ付テ學ブベク始ムル前ニ圖ニ於テ見而ノ然ルキニ地圖ニ迄向ケ而シテ汝ガ彼等カラ何ヲ學ビ能フカナ見ル最後ノ日課ニ於テ汝ガ圖ニ於テ二ツノ收納ノ景ノ夫ヲ一見ニ於テ話スベク氣候産物而シテ職業ニ付テ充分學ビシ一ハ北方ノ洲ニ於テ而シテ



他ハ南方ノ洲ノ一ニ於テノ景デアアル○二十二ペーシノ地圖ニ迄向ケ  
 而シテ汝ガ北亞米利加ハ一方ニ於テ歐羅巴而シテ亞非利加而シテ他  
 ニ於テ亞細亞ノ間ニアルヲ見ルデアロウ夫ト而ノ歐羅巴ノ間ノ最  
 モ短キ隔リガ大西洋ヲ横切リテ殆ンド千五百里デアアル而シテアラス  
 カカラ亞細亞ニ迄横切リテ百里ヨリハヨリ少カデアアルヲ見ルデアロ  
 ウ○夫ハヨリ大ナル度ニ於テアル所ノ三十一ペーシノ地圖ニ迄向ク  
 所デ汝ハ國ノ重ナル顯レヲ見ル是等ハ夫ノ海岸ノ線夫ノ山脈而シテ  
 水路夫ノ入海岬入江島湖水海峽半島デアアル汝ハ其處ニ三ツノ大ナル  
 山脈ガアルヲ見ル氣付ケル一ハ大西洋ノ海岸ニ迄殆ンド平行ニ走ル他  
 ノ二ツガ互ニ而シテ太平洋ノ海岸ト共ニ平行ニアル是等ガ金而シテ  
 銀而シテ他ノ礦物ニ於テ甚ダ富ンデアアル○圖ノ左リニ於テノ景色ガ  
 是等ノ山中ニ置カル、○地圖ノ汝ノ吟味ヲ續ケル所デ汝ハアレガニ

一而シテロツキー山ノ間ノ全キ國ハ重ニミシ、ツビー而シテ夫ノ支  
 流ニ因テメキシコノ灣ニ迄南ニ干サル、ヲチ大ナル湖ハセントラウレ  
 ンス河ニ因テ大西洋ニ迄干シ去ラル、ヲチ而シテロツキー山ノ東ノ  
 ブリチス領ノ總テノ其餘ノモノハ重ニチルソン而シテマツケンシ  
 河ニ因テ北ニ迄干サレテアルヲチ氣付ル○北亞米利加ハ種々ノ政府  
 ノ下ニ種々ノ國ニ迄區別サル、北西ニ於テ近頃合衆國ニ迄加ヘラレ  
 タル魯西亞領即チアラスカガアル東北ニ於テ大ナル島ノグリーンラン  
 ドガアル北ニ於テブリチス亞米利加ガアル中央ニ於テ合衆國而シテ  
 南ニ於テメキシコ而シテ中央亞米利加亦夫ハ重ニスペーン而シテ英  
 吉利ニ迄屬スル島デアアル所ノ西印度ガアル○合衆國ハ我々ニ迄最モ  
 多ク要用ニ而シテ大切ニアル故ニ我々ハ我々が北亞米利加ノ地圖ヲ  
 試験シタ後最初ニ彼等ニ彼等ニ付テ勉強スルデアロウ

第十七章

右ハ問答ナルヲ以テ略ス

第十八章

合衆國

我々が我々自身ノ國ニ付テ勉強スベク始メルキニ我々ヲシテ三十五  
 べーシノ地圖ヲ吟味シ而シテ夫ノ最モ多ク著シキ自然ノ顯レノ或モ  
 ノヲ勉強セシメヨ○汝ハ合衆國ガ北亞米利加ノ中心ノ而シテ最モ多  
 ク要用ノ部分ヲ占ルヲ見タ<sup>オキエーグイ</sup>彼等ガ大洋カラ大洋ニ迄廣ガル○彼等  
 ノ海岸ノ長キ線ハ夫ガ大ナル河而シテ湖水ヲ以テ交易ニ向テ善キ便<sup>フレンシ</sup>  
 利ヲ與ヘル所ノ多クノ入江、入江而シテ好キ港ヲ以テ刻マル、○内部  
 ハ山、平地而シテ谷ニ因テ區別サル、<sup>ゼアールンフアイド</sup>ミシ、ツビーノ西ノ山ノ或モノ  
 ガ常ニ雪ヲ以テ蔽ハル、ベク左様ニ高クアル○此ノ河ノ水ガ東ニ於

テ大西洋ノ夫等カラアレガニー山ニ由テ區別サル、大平洋ノ夫等カラ  
 西ニ於テロツキー山ニ由テ區別サル、<sup>○</sup>是等ト而シテ夫ハシーラチハ  
 ーダ而シテカステード山ニ因テ形造ラル、所ノ海岸ノ列ノ間ニ夫ノ  
 内地ノ池而シテ鹽ノ湖水ヲ以タル高キ高原ナル<sup>デーアヒラント</sup>大ナル亞米利加平地  
 ガアル<sup>ス</sup>斯様ニ汝ハ全キ國ガ種々ノ高大ナル自然ノ區別ニ<sup>ディヒシヨンス</sup>迄夫ノ山ニ  
 因テ分チ離サル、<sup>○</sup>第一ニ其處ニ河ガ總テ大西洋或ハ夫ノ  
 枝ノ或ルモノニ迄盡ス所ノアレガニー山ノ東ノ陸<sup>是</sup>ハ大西洋ノ傾キ  
 ト呼バル、如何トナレハ陸ガ大西洋ノ方ニ傾ク故ニ夫ハ合衆國ノ最  
 モ多ク稠密ニ殖民サレタル部分デアル而シテ最モ大ナル都府ヲ持ツ  
 茲ニポストン、ニユヨーク、ヒラデルヒア、バルチモア、リツチモンド、チヤ  
 ーレストン而シテサヴァンナー貿易ノ都府而シテ國ノ首府ノワシ  
 トンガアル○第二ニアレガニー而シテロツキー山ノ間ニ我々ハ重ニミ

シ、ツビー<sup>アフリカ</sup>而シテ夫ノ支流<sup>ニ</sup>ニ因テ最モ多ク干サレタル大ナル中心ノ土地ヲ持ツ夫ノ最モ大ナル都府ハニウヨーク、セントル<sup>イ</sup>イズ、而シテミシ、ツビー<sup>ニ</sup>於テノメンフェイス、ミサガン湖ニ於テノチカゴ<sup>ー</sup>而シテオハヨ<sup>ー</sup>ニ於テシンシンナツチ而シテル<sup>ー</sup>イシビルデアアル<sup>○</sup>第三ニ我々ハ東ニ於テロツキ<sup>ー</sup>山而シテ西ニ於テシーラチバダ、而シテカスケー<sup>ー</sup>ド山脈ノ間ニアル所ノ高原ヲ持ツ是ハ合衆國ノ屋背デアアル夫ハ海上ニ五千カラ八千フイ<sup>ー</sup>トニ迄立チ而シテ頂上ハ夫ニ迄海ニ迄ノ代リニ河ガ彼等ノ于ス<sup>コ</sup>チ交ス<sup>所</sup>ノ池ニ迄回マサル此ノ高原ニ於テノ最モ大ナル都府ハサルトレー<sup>ク</sup>シチ<sup>ー</sup>デアアル<sup>○</sup>第四ニ此ノ高キ屋背ノ西而シテ南傍カラ干ス<sup>コ</sup>ハコランピア、コロラド<sup>ー</sup>、而シテ大平洋ニ迄他ノ河ヲ通シテ交サル、<sup>ニ</sup>サンフランシスコハ大平洋ノ傾キノ大ナル貿易ノ都府デアアル

第十九章

歴史、殖民、國

汝ガ是等ノ自然ノ區別ノ外ニ其處ニ國而シテ領地ノ如キ斯様ナル他ノモノガアル<sup>コ</sup>チ見ル<sup>ニ</sup>政事ノ地理學ガ是等ニ付テ論ズル<sup>○</sup>一百年ヨリモヨリ多クガ亞米利加ノ發見ノ後過去リシ英國ガ夫ヲ殖民<sup>シ</sup>助ケベク企テシ前ニ彼女ノ最初ノ殖民ガビルギニアニ於テアリシ<sup>○</sup>國ガ然ル<sup>ニ</sup>夫ガ速カニ甚ダ<sup>ニ</sup>敵對ニナリシ所ノ野蠻ナル印度人ニ由テ住マハレシ<sup>ニ</sup>是ガ夫ノ殖民ヲ困難ニ而シテ危クナセシ而シテ夫ガ玉蜀黍<sup>ト</sup>而シテ馬鈴署<sup>ト</sup>ニ向テ有ラ<sup>ン</sup>ダリキナラハ是等ノ早キ殖民ガ決シテ彼等自身ヲ茲ニ定メルベク適當シテ有<sup>ン</sup>ダデアロウ<sup>ニ</sup>玉蜀黍、馬鈴署、煙草、或ハ白露國鳥ガ歐羅巴ニ於テ見ラレ<sup>ン</sup>ダリキ<sup>○</sup>夫ニ向テ北カ<sup>ニ</sup>ロリナノ首府ガ名付ラル、所ノサー<sup>ー</sup>オールターロー<sup>ー</sup>ガ其處ニ彼

等ガ歐羅巴ニ於テ最初ニ耕サレシ處ノアイルランドニ迄彼ト共ニ馬鈴署ヲ運ビシアイリスノ馬鈴署ナル名ガ夫カラナリ○一千六百二十年ナルヨリ遅ク十三年ニ第二ノ英國ノ殖民ガマツサキユセツツノプリムマスニ於テ爲サレシ○是ハ他ノ百年ヨリヨリ多クノ過去リノ後ニ大貌列顛ガ十三ノ繁榮ナル北亞米利加ノ殖民即チニウハムプシーヤ、コンチツトカツト、マツサキユセツツ、ロードアイランド、コンチツトカツト、ニウヨーク、ニウジャージー、ペンシルヴァニア、デラウエーア、メーリーランド、ビルギニア、北而シテ南カロリナ、ジョールジャノ所有ニ於テ彼女自ラヲ見出セシ迄他ノ者ニ因テ續カレシ○終ニ公會カ代議士ナシニ殖民ニ納税スベク王政ノ權理ヲ言張リシ是ガ軍而シテ分離ニ迄導キシ殖民ガ叛キシ而シテ一千七百七十六年ノ七月ノ四日ニ於テ獨立ノ布告ヲ出セシ○軍ガ一千七百七十五年ノ四月十九日ニマツサキユセツツ

ノレキシントンノ戰ヲ以テ始マリシ而シテ一千七百八十一年ノ十月十九日ニヴァージニアノヨークトーンニ於テ降服ヲ以テ終リシ大貌列顛ガ自由ナル主權ノ而シテ獨立國デアアルベク此等ノ殖民ヲ承諾セシ○是等ノ十三國ガ然ル時ニ一緒ニ一致シ憲法ヲ組立シ而シテ合衆國ノ共和政治ヲ取立シ斯様ニ夫ノ下ニ我々が住居スル所ノ政府カ造ラレシ○然ルキニ其處ニ十三國ガアリシ今其處ニ三十七ガアル然ルキニ我々ノ領地ガ大陸ノ東方ニ於テ唯々狹キ切レデアリシ今夫ガ大平洋ニ迄廣キ帯ニ擴カル然ルキニ其處ニ唯三百萬ノ人民カアリシ今我々が殆ンド四千萬デアアル

第二十章

政府國而シテ領地

其處ニ政府ノ二ツノ種類カアル共和政治而シテ君主政治而シテ

ノ國民ガ共和政治或ハ君主政治デアル帝國エムパイア而シテ王國ガ君主政治デアル○合衆國ガ共和政治デアル大貌列顛カ君主政治デアル都テノ君主政治ノ内テ彼女ノカ最モ多ク充分ニ而シテ最モ善クアル共和政治ノ中ニ合衆國ガ第一ノ而シテ最モ大ナルモノデアル夫故ニ我々が政府ノ二ツノ種類ノ説イデオロギイキ明シトシテ是等ノ二ツノ國民ヲ用ユルデアロウ○地球ノ國民ノ中ニ十九ハ共和政治デアル其ノ餘ハ君主政治デアル○共和政治ニ於テ最モ高キ公務ガ大統領オウフイシヤル プレシデントデアル彼カ或ル定メラレタル時勤メルベク人民ニ因テ撰チヨウセン舉サル、此ノ國ニ於テハ四年而シテ彼ノ年限カ終ルキニ他ノ撰エレンジョン舉ガ保タル、○君主政治ニ於テハ國王ガ王、女王、或ハ帝エムペロルニセヨ國ノ最モ大ナル高官人デアル彼ガ希レニ撰チヨウセン舉サル、彼カ生活中遺物イシヘリタンスニ由テ支配スル而シテ彼ガ死スルキニ彼ガ當然ノ事トシテ彼ノ自然ノ嫡子ニ由テ嗣ガル、○英吉利ニ於テ王ガ一ノ

不世チナシ能クハ又宰相ミニスター或ハ我々が彼等ヲ呼ブ如ク内閣ノ會友メンバーガ而シテ王權デナク政府ノ固有ノ支配アドミニストレーションニ向テ人民ニ迄擔當スベクアル我々ヲ以テ大統領ガ擔當スベクアル○我々ノ國民ノ法律ハ夫ガワシントニ於テ政事堂ニ於テ毎年出會フ所ノ會合コングレスニ因テナサレシ會合ノ會友ハ人民ニ由テ撰チヨウセン舉サル、○併シナガラ法律ノ甚ダ多クハ唯々彼等自身ニ向テ別々ナル國ニ由テナサル、各々ノ國ハ夫ガガハ一ノルト呼バル、所ノ夫自身ノ重ナル支配人マシストレイトヲ持ツ國ノ法律ガ國ノ都府ニ於テナサル、○國ノ新ラシク殖民サレタル部分ハ領地ニ迄整オルガニズドヘラレ而シテ彼等ガ國トナリ而シテ會合ニ迄議事官而シテ代議士ヲ送ルベク充分ナル人民ヲ持ツ迄斯様ナル物トシテ支配サル、○ワシントンハ夫ガ唯六十七平方里ヲ保ツ所ノコランビヤノ郡ニ於テ置カル、○合衆國ハ今整ハザル領地ナルアラスカノ外ニ三十七國十ノ領地一

郡カラ成立ツ○便利ニ向テ是等ノ國而シテ領地ハ五ツノ高大ナル區  
別即チ部分ニ由テ一緒ニ集メテグロープレタ東方、中心、南方、西方、而シテ大洋洋  
ノ國

第二十一章

右ハ問答ナルヲ以テ省畧ス

第二十二章

ラチナユド緯度、氣候、而シテ產物、

汝ハ三十五ベ一ツニ合衆國ノ最モ南方ノ方位ハフロリダニ於テノセ  
ーブル岬デアルヲチ而シテ夫ガ北殆ソド二十五度半緯度ニ於テ唯ダ  
カンサーノ回歸線ノ北二度ニアルヲチ彼等ガ其處ニ彼等ガブリナス  
亞米利加ニ達スル所ノ北四十九度ヨリヨリ遙カ廣ガヲヌヲチロンドンユド經度ニ  
於テ彼等ハ西六十七度カラ百二十五度ニ迄廣ガル而シテ夫故ニ經度

ノ五十八度ニ由テ緯度ノ二十四度ヲ含ムヲチ氣付ル○汝ハ第十五  
章ヲ勉強スルヲカラ都テノ國ニ於テ人民ノ職業而シテ土地ノ產物ハ  
夫ハ重ニ緯度ノ上ニ屬スル所ノ氣候ニ由テインフレンスド感ゼラル、ヲチ學ビシ○  
我々チシテミシ、ツペーノ口カラミンチソタニ於テノ夫ノ源ニ迄旅  
ヲ取ラシメヨ是ハ彼等ガ唯緯度ノ上ニ屬スル如ク左様ニ遙カ合衆國  
ノ都テノ氣候ヲ通シテ我々チ待チ來ステアロウ我々ハ然ルキニ我々  
自身ノ國ニ於テ重ナルフスター產物而シテ地理學ノ分業ヲ記シ與フ○我々ハ  
甘蔗、ガイケー橙、無花果、米、綿、而シテ玉蜀黍、大芋、甘キ馬鈴薯、而シテ彼等ノ松脂ガイベンチンノ  
樹園カトルヤードヲ以タル松木ピツトハインノ森ヲ以タルヨリ低キルーイシアナニ於テ始メル  
都テ是等ハ其處ニ成長スル併シナガラ是等ノ緯度ニ於テ人民ノ働キ  
ハ重ニ砂糖米而シテ綿ニ遙向ケラル、○今太西洋而シテロッキー山丈  
テ夫丈ケ遙カ同シ緯度ニ於テ添ウテ汝ノ眼ヲ投ケ而シテ汝ハ如何ニ

人民が用ヒラル、カ而シテ國ノ此ノ全キ帶ノ重ナル產物が何ガアル  
 カチ判斷シ能フ○汝ハ海ニ近ヅクニ從テ氣候ガヨリ柔カニナル而シ  
 テ汝ハ山ニ登ルニ從テヨリ寒クナル○汝ハ何故ニ是ガ左様デアルカチ第  
 四十六章ニ於テ學ブデアロウ汝ハ唯々夫ガ左様ニアルヲ而シテ夫故  
 ニ汝ハ汝ガ内部ニ於テ彼等ヲ見出スデアロウヨリハ赤道カラヨリ遙  
 カ米而シテ綿而シテ他ノ物ヲ耕作シツ、カロリナ人ニ於テノ如ク海  
 岸ヲ沿ウテ人民ヲ見出スデアロウヲ記臆スベク今望マル、○我々  
 ガ河ヲ登ルニ從テ我々が最初ニ甘蔗而シテ橙而シテ大芋ノ境ヲ過ギ  
 而シテ我々ハ三十六ノ緯度ニ於テノテンチツシーノ中央ニ達シタキ  
 ニ依テ我々が綿、米、松脂園而シテ無花果ヲ都テ後ニ見捨タ而シテ砂糖  
 ノ楓而シテ砂糖黍ニ向テ桃而シテ他ノ核果ニ向テ小麥而シテ小サキ  
 穀物ニ向テ草而シテストツクレリシング(花草ノ名)ニ向テ而シテ葡萄

蔓、麻而シテ煙草ニ向テ丁度國ニ入込ミツ、アル都テ是等ハ勉強ノ枝  
 デアル而シテ彼等ノ大切ニ迄從ツテ此ノ帶ノ住民カラ氣付ヲ受取ル  
 ○我々ハ北ニ進ムニ從ツテ我々が甘キ馬鈴薯ヲ失ウ而シテ夫ニ於テ  
 アイリス人ガ馬鈴薯ヲ最モ多ク樂シム所ノ緯度ニ迄來ル而シテ我々  
 ガミスーリーノ北方ノ線ヲ過ギタキニ由テ我々が桃、葡萄、麻、或ハ煙草  
 ニ迄一般ニ惠ミアラン氣候ヲ見出ス○今汝ノ目チ地圖ニ於テノ右ニ  
 迄而シテ左ニ迄投ケ而シテ汝ハ三十六度而シテ四十度ノ間ニ此帶ニ於  
 テノ人民ガ如何ニ重ニ務メラル、カチ見ルデアロウ○旅行スル所デ  
 我々が國ノ大ナル穀物ノ成長ノ而シテ家畜ヲ高メルヲ帶ノ中央ニ於  
 テ我々自ラチ見出ス中央ノ國ニ於テノ如ク海岸ヲ沿ウテ此ノ帶ニ於  
 テノ人民ハ手廣ク亦貿易ニ於テ關ハサル、併シナガテ當時ニ於テロッ  
 キー山ノ中ニ藪キ散サレタル人口ガ重ニ金而シテ銀ノ掘礦ニ於テ關

ハサル、○我々ハ尙ホ遙カ北ニ進ミ而ノ境ニ近ヅクニ從ツテ氣候  
 ガ耕作ノ職業ニ向テ餘リ寒ク得ベク始マル而ノニウイングランドノ  
 國ニ於テノ如ク人民ガ森而シテ海ノ勉強ニ迄漁リスルヲ航海スルヲ製  
 造スルヲ交易材木伐ルヲ而シテ造船スルヲニ迄彼等ノ氣付ナ向ケル  
 ベク始ムル○此ノ日課ノ注意シタル勉強ヲ以テ汝ハ夫ノ重ナル產物  
 ノ如ク左様ニ好ク汝自身ノ國ニ於テ仕事ノ地理學ノ分チニ關ツテ一  
 般ノ考ヘチ形造ルベク適當シテ有デアロウ

第二十三章

新英吉利國

是等ノ國ガ令衆國ノ東北ノ隅ヲ充ス而シテ五ツノ別チノ最モ少サキ  
 モノチ形造ル併シナガラナラガンセツト灣ノ周圍ニ而シテロングア  
 イランドサウンドニ於テヨリ少カ待遇セザル陸ノ如ク左様ニ好クマ

ツサキユセツツノ寒キ海岸が大西洋ヲ横切ルヲカラ最モ早キ永久ノ  
 殖民チビルジニアノ後次ニ受取リシ此ノ部分ノ海岸ノ長キ刻マレタ  
 ル線ガ多クノ善キ港ヲ以テ夫ニ備ヘル○グリーンモウンテーンハニ  
 ウハムプシヤニ於テホワイト山而シテメーンニ於テノカタジーン山  
 トシテ他ノ名ニ由テ知ラレタル種々ナル別レタル枝而シテ峰ヲ以  
 是等ノ國ノ殆ンド全キ長サニ廣ガル是等ノ高キ陸カラ河ハ東ノ側ニ  
 於テ大西洋ニ迄而シテ西ノ側ニ於テハドソン河チヤープレン湖而シ  
 テセントラウレンス河ニ迄流レル彼等ノ何ニモハ長クアラヌ或ハ彼等  
 ノ或ルモノガ國ノ大ナル表面チ于シナサヌ併シナガラ彼等ハ數多ク  
 アル而シテ彼等ノ多クハ速カニ丘陵多キ國ヲ通シテ降り而シテ夫ハ  
 夫ノ重ナルモノガマツサキユセツ、ニ於テノローウイル而シテロー  
 レンス而シテニウバムプシヤニ於テノマンチエスターニ於テアル所



磨舎而シテ製造所ノ種々ナル種類ノ機械ヲ動カス所ノ水車ヲ回轉ス是等ノ三ツノ都府ハメリマツク河ニ於テアル其處ニ亦夫カラ最モ清淨ナル氷ノ大ナル片ガ毎冬切ラレ而シテ夏ニ於テ印度而シテ他ノ暖キ國ニ迄送ラレベク氷家ニ於テアナラン貯ヘラル、所ノ美シキ生水ノ湖而シテ池ガ海岸ニ迄便利ニ茲其處ニ蒔キ散サル、

第二十四章

新英吉利國ニ付テヨリ多ク

氣候ハ格別ニ北方ノ部分ニ於テ寒クアル汝ガ十五章ニ於テ既ニ學ンダ如ク夏ハ短ク而シテ冬ハ長ク而シテ嚴シクアル併シナガラ其處ニ汝ガ想像スルデアロウ如ク北方ノメーンノ而シテ赤道ニヨリ近ク四百里ノ南方ノコンチナカット而シテロード島ノ溫度ノ間ニ多クノ違ヒガアル陸ノ多クガ亦丘陵多ク而シテ荒クアル而シテ豊饒ニ有

ラヌ汝ハ如何ニ是等ノモノガ人民ノ職業ニ感ズルデアロウカチ了解シナスカ○農夫ガ玉蜀黍、裸麥、燕麥、大麥、枯草、馬鈴薯、而シテ林檎、高メル、パーモントニ於テノ如ク或ル部分ニ於テ多クノ家畜、羊、而シテ馬ガ高メラル、併シナガラ全キモノトシテ土地ノ産物が大ナル人口ヲ支ヘ或ハ人民ヲ富ムベクナサンデアロウ夫故ニ甚ダ多クハ他ノ職業ニ於テ關ハル○大ナル數ハ私ガ汝ニ話シタ如ク製造スルヲニ於テ充クサル、彼等ハ合衆國ニ於テ他ノ所ニ爲サレルヨリモヨリ多クノ毛織而シテ綿布ヲナスマサツチユセツツハ亦或ル他ノ國ヨリハヨリ多ク長靴而シテ靴ヲナスコンチツトカットハ縫機械時計、留針、火器而シテ他ノ製造サレタル品物ノ種々ニ於テ勝ル○左様ニ汝ハ如何ニ貿易ガ人民ヲ助ケルカチ見ル彼等ガナシ而シテ賣ル所ノ品物が生活ヲ爲スヲノ而シテ亦富ト成ルヲノ手術ヲ彼等ニ備ヘル如何トナレハ貿易ハ

彼等ガ食物或ハ衣服ニモヨ買フベク要スル所ノ各々ノモノヲ以テ彼等ヲ備ヘ而シテ彼等ガ賣ルベク要スル所ノ各々ノ物ニ於テ市場ニ備ヘル○メーンハ東方ノ國ノ最モ好ク水灌ガレタル而シテ最モ好ク森ダツテアル夫ノ森ハ造船ニ於テ勝レタル材木ヲ以テ充ツル此ノ道理ニ向テメーンハ其處ニ造ラレタル船ノ數ニ向テ而シテ亦彼女ノ材木ノ商賣ニ向テ名高クアルメーンハ時トシテパイントリーステートト呼バル、○ニウハンブシヤハ花崗石ノ岩ノ夫ノ夥シキ「カラ花崗石ノ國ト呼バル、而シテ時トシテ亦夫ノ景色ノ荒キ而シテ美シキ「カラ亞米利加ノスウイザーランドト呼バル、ホアイト山ガ北カロリナノブラツク山ノ外ミシ、ツビー河ノ東ニ最モ高キ陸デアル旅人ノ大ナル數ハ夏ニ於テ彼等ヲ見舞ウ彼等ノ頂上ニ於テ夫ハ最モ熱キ日ニ於テサヘモ全ク涼シクアル○汝ハハイモント而シテニウハンブ

シヤノ間ノコンテットカット河ノ谷ノ上ニ旅シツ、アリシナラ汝ハ夫ガ東ニ於テ登ル所ノ嶮シキ岩多キ丘陵而シテ山ヲ氣付ル「テ能ハザリシ然ルニ夫ニ於テ無數ナル羊群而シテ群ガ養ヒツ、アル所ノヨリ柔ナル奇麗ニ青キ傾キガ西ニ迄彼方ニ廣ガル○メーンニ於テノ如ク左様ニ好クマサツチユセツツニ於テ多クノ人ガ大口魚青魚而シテ深海ノ漁業ニ於テ係ワサル、マサツチユセツツノ南方ノ部分ニ於テノニウベツドフォルドガ合衆國ニ於テ或ル他ノ都府ヨリハヨリ多クノ漁鯨船ヲ送り出ス○此ノ部分ノ大ナル貿易ノ都府ナルボストンガ他ノ國ト夫ノ商賣ニ向テニウヨークニ迄次ニ位スル夫ガ自由ナル學校ノ夫ノ組立ニ向テ氣付ケラル、○ロード島ニ於テノプロビデンスガニウイングランドノ都府ノ内ニ第二ノ階級ヲ保ツ既ニ記載サレタル三ツノ製造ノ都府ノ外ニ何レガ彼等デアルカ其處ニコンテ

ツトカットニ於テニウハーブン而シテブリツシボート而シテ種々ナル國ニ於テ多クノ他ノモノガアル風雅ノ湯治場ナルロード島ニ於テニウボートガ夫ノ好き海水沐浴ニ由テ誘ハレタル所デ夏ニ於テ見舞人ヲ以テ群集サル、○革命ノ最初ノ戦ガニウイングランドニ於テアリシレキシントン而シテボストンニ近キハンカーヒルガ彼等ニ由テ名高クナサレシ二百二十ヒート高キ花崗石ノ碑ガ一千七百七十五年六月十七日ニハンカーヒルニ於テ交戦ノ場所ヲ記ス

第二十五章

右ハ問答ナルヲ以テ省畧ス

第二十六章

中央ノ國

北緯三十八度而シテ四十五度ノ間此ノ部分が東ニ於テニウイングラ

ンドカラ北西ニ於テグレイトレーク而シテ南西ニ於テボトマツク河ニ迄廣ガル所デ大西洋ノ國ノ内ニ中心ノ位地ヲ充タス○ニウヨークノ氣候ガ夫ノ東ニ位スル所ノニウイングランド國ノ夫レニ甚ダ均シクアル併シナガラ勿論時候ハ汝ガヨリ遙カ南ニ行クニ從ツテヨリ柔カニナルノリーランド、デラウエーセ、而シデニウシヤーセ、而シテペンシルバニヤノ南ノ部分ニ於テ其處ニ冬ニ於テ唯々少カノ雪ガアル然ルニニウシヤーセ、デラウエヤ而シテ東方メーリーランドニ於テ氣候ガヨリ遙カ内部ヨリ少カヨリ柔カデアル格別ニ其處ニ夫ハ汝ガ三十六ペーシニ於テ既ニ學ンダ如ク常ニ寒シアル所ノ山ノ土地ニ於テ○<sup>ブイシバル</sup>重ナル植物ノ産物ガニウヨークニ於テノ蕎麥而シテ難キ樹園ノ果實ト共ニ都テノ國ニ於テ小麥、玉蜀黍、而シテ枯草デアルニウシヤーセ、而シテデラウエアガ彼等ノ桃園ニ向テ氣付ラル、多クノ農夫ガ其處

ニ彼等ノ小麥ノ収納ノ上ヨリヨリ多ク彼等ノ果物ノ上ニ屬スル「夫ヲ汝ガ店ニ於テ買フ所ノ美味ナル知フレタル果物而シテ植物ガ重ニ此部分ノ樹園而シテ花園ニ於テ生長サル、○是等ノ國ノ多クノ部分ニ於テ其處ニ好キ牧場ツラシクガアル」彼等ガ牛酪而シテ乾酪チーズ、皮而シテ毛ノ大ナル分量コシテヲ與ヘル所ノ無數ノ群而シテ群ヲ持ツ○メリーランドノ畜本ブトウツニ迄増加ニ於テサビーク灣ノ水ガ魚而シテ野獸ノ最モ好キトニ於テ充ツル」バルチモニアノ牝蠶カイヌクノ商賣ハ勉強ノ別派ヲ組立テベク丈テ左様ニ大キクアル」年々メリーランド而シテヴイルシニヤニ迄テスセビークニ由テ生セラレタル魚而シテ鳥ガカリフオーニヤノ金丈ケ、左様ニ多ク殆オスナメーアツドノ直ウチシテアル「夫ガ葬用サレタ○ニウヨークヒラデルヒア、ブルーシリン、バルチモニア而シテワシントンノ如ク斯様ナル大ナル都府ガ是等ノ國ノ花園而シテ製乳所デーリリーカラ多分充サル、

而ノ彼等ノ人口ガ彼等ノ耕作ノ土地ノ人口ト比較コシカクニ於テ農夫ガ彼等自身而シテ都府而シテ小都府ニ向テ充分ヨリハ甚ダヨリ多ク生シ能ハヌ「程左様ニ大キクアル○斯様ニ一部分ハ氣候ノ違ヒニ迄而ノ一部分ハ他ノ原因ニ迄歸スル所デメリーランドハ汝ガニウイングラノドカラ南ニ旅行スルニ從ツテ夫レニ於テ汝ガ貿易ニ向テ植物ノ產物ノ有餘サアソラスヲ彼女自身ノ人民ノ要用サト、ソライ、ソングヲ満足サセル「後ニ見出ス處ノ最初ノ國デアアル

第二十七章

中央ノ國ニ附テヨリ多ク

デラウエーヤノ外是等ノ國ノ都ミナソレガ礦物ノ產物ニ於テ富コシサムンデアアル」ニウヨークニ於テノシラキユスノ鹽スプリングスノ泉ガ合衆國ニ於テ費コシサムヤサレタル總テノ鹽ノ六分ノ一ヲ生ズル」デラウエーヤガ唯々一ノ鐵ヲ持タヌ」ペン

シルバニヤが大ナル石炭而シテ鐵ノ國デアアル石炭礦ノ或ルモノニ於テ  
 汝ハ夫カラ石炭が取ラレタ所ノ通路ニ於テノ地ノ下數里間旅シ得シ  
 ○メリーランドハ夫カラペンシルバニアガ彼女ノ鐵而シテ石炭ヲ掘  
 ル所ノ同シ山ニ因テ横切ラル、而シテ是等ノ礦物ノ二ツニ於テ富  
 デアル汝ハ地圖ニ於テ氣付ルアレガニ——山ガギヨシヤカラニウヨ  
 クニ迄都テノ道ニ廣ガル彼等ガ非常ニ礦物而シテ礦液ニ於テ富デア  
 ル○メリーランドノカンバーランドハペンシルバニア而シテウ・エス  
 トゾアージニヤガ石腦油ニ於テアル如ク石度礦ニ於テ富ンデアアル人  
 民ハ夫レカラ水ノ代リニ彼等ガ石腦油ヲ得ル所ノ井戸ヲ掘ル時トシ  
 テ油脈ガ打タル、キニ油ガ此ノ容物丈ケ左様ニ高ク三四倍圓柱ニ於  
 テ湧キ上ル○汝ハ今貿易製造スルヲ而シテ礦掘ルヲガ是等ノ國ノ重  
 ナル職業デアアルヲ容易ク了解シ能フ彼等ハ其處ニ綿毛織絹、柔皮、磨

キ鉄銀或ハ他ノ物品が製造サル、處ノ多クノ小都府而シテ都府ヲ持  
 ツ是等ノ内ニヒラデルヒヤ、バルチモア、ピッツバーグ、ジャセーシナ  
 パーターソン、而シテローチエスター、ガアル○夫ガ此ノ大陸ノ大ナル  
 交易場デアアル所ノニウヨークカラ而シテバルチモア而シテヒラデル  
 ヒヤカラ他ノ國ニ迄小麥、粉、唐モロコシ、綿、煙草、而シテ夫ハ國ノ種々ノ  
 部分カラ夫ノ目的ニ向テ是等ノ都府ニ迄持來サル、所ノ他ノ物品ガ  
 輸出サル、夫レ等ノ物品ハ珈琲、茶、絹、而シテ夫レハ國ニ迄持來サル、  
 委ク云ヘハ輸入サル、所ノ他ノ商品ニ向テ外ニ交易サレテアル

第二十八章

右ハ問答ナルヲ以テ省略ス

第二十九章

南方ノ國

合衆國ノ地圖ニ迄向ケヨ而シテ何處ニ是等ノ國ガ置カル、カチ見ヨ「汝ハ彼等ガ何レデ有ルカチ容易ク記憶スルデアロウ若シモ汝ガ彼等ガポトマツク河ノ南ニ大西洋ノ傾キノ都テチ而シテメキシコノ入江ニ迄次ニ國而シテ領地ノ二ツノ列ナルアレガニ山而シテロツキー山ノ間ノ國ノ總テ南方ノ部分ヲ含ムヲチ氣付ルナラハ○南方ノ國ガ數ニ於テニウイニングランド而シテ中央ノ國チ一緒ニ一樣ニシテ廣ガリニ於テ甚ダヨリ大クアル」彼等ノ人口ガ今左様ニ大キク有ヌ併シナガラ彼等ノ自然ノ錢財ガ打越ヘラレヌ而シテ彼等ノ產物ノ種々ヤ而シテ價ヒチ勉強スルコガ少キ地理學者ニ迄甚ダ大切ニアルベク屬スル○ビルシニアノ外都テノ是等ノ國ガ北緯ノ三十七度平行線ノ南ニアル地圖ノ側ニ於テ汝ガ緯度ノ平行線ヲ顯ハス處ノ三十度而シテ三十五度ヲ見ル」是等ノ平行線ヲ跡追エヨ而シテ彼等ガドナ國ヲ横切

ルカチ見ヨ「汝ハ亦フロリダノ南方ノ部分ガ殆ンド二十五度平行線丈シ左様ニ遙カ南ニ廣ガル而シテフロリダ島ハ夫ハ汝ガ記憶スル熱帶ノ北方ノ境デアアル所ノカンサーノ同歸線ノ北ニ唯殆ンド一度尙ホヨリ遙カ南ニ廣ガルヲチ氣付ル○汝ガ夫故ニメキシコ入江ニ於テ界スル所ノ夫レ等ガ名付ラル、如ク格段ニ入江ノ國ナル是等ノ國チ東方而シテ中央ノ國カラ甚ダ違ツタルト見出スベク望ムデアロウ同歸線ニ左様ニ近クアル所デ氣候而シテ產物ノ何ノ十種類ヲ汝ガ望デアロウカ」汝ハ直チニ暖カナル氣候ト云フ然リテツツシトノ南方ノ線ノ南ノ國ニ於テ冬ガ中央ノ國ニ於テ秋ヨリハ稀ニヨリ寒クアル夫ハ花多キト意味スル所ノフロリダニ於テ汝ガ美シキ羽ノ而ノ別段ナル習慣ノ鳥ノ外ニ美味ナル橙、芭蕉而シテ鳳梨ト共ニ都テノ年周圍ニ花而シテ菓物ヲ見出スデアロウ○メキシコ入江ニ近ク甘蔗ガ成長スル夫レチ

熟スルコトノ夫ガ甚ダ暖カナル氣候ヲ要スル<sup>レクレイヤ</sup>夫ハ合衆國ニ於テ爲サレ  
 タル砂糖ノ十分ノ九ヲ生ズル所ノル<sup>フロート</sup>イシアナニ於テサヘモ砂糖ノ  
 収納ハ甘蔗ガ熟ノアル前ニ來ル所ノ霜<sup>フロート</sup>カラ屢々欠乏スル<sup>レ</sup>甘蔗ガ切ルコ  
 ニ向テ適當シテアルキニ手ガ夫ヲ取込ミツ、夫ヲ磨<sup>フリントング</sup>キツ、汁ヲ搾<sup>プレス</sup>リ  
 出シツ、而シテ夫ヲ煎<sup>ボイリング</sup>下シツ、甚ダ多忙ニアル<sup>レ</sup>○北カロリナ而シテ  
 テンチツシーノ南而シテ南西ノ第八國ガ多分緯度ノ同シ平行線ノ間  
 ニアル彼等ガ夫故ニ一様ナル氣候而シテ一様ナル產物ヲ持ツ<sup>カフコーレス</sup>勿論ヨ  
 リ多ク北方ノ部分ガ南方カラ稍ヤ違ツテアル而シテ高キ陸ノ產物ガ  
 低キ陸ノ夫レ等カラ違フ併シナガラ其處ニ或ル他ノモノヨリハヨリ  
 多ク價高キ而シテ彼等ニ迄<sup>ヘキユター</sup>固有ナル是等ノ國ノ一ノ植物ノ產物ガア  
 ル<sup>レ</sup>夫ノ多クガビルシニヤ北カロリナ、而シテテンチツシーニ於テ見出  
 サレシ而シテ夫ノ何ニモガヨリ多ク北方ノ國ニ於テ見出サレシ<sup>レ</sup>夫レ

ガ綿デアル而シテメキシコ入江ニ最モ近キ第八ノ國ガ綿ノ國ト呼バ  
 ル<sup>レ</sup>、<sup>ミシ</sup>ツピーガ最モ多ク綿ヲ高メル而シテアテハマガ此ノ關係  
 ニ於テ次<sup>チキスト</sup>ニ位スル<sup>レ</sup>綿ノ或ルモノガ其處ニ夫ガ生ズル處ノ國ニ於テ糸  
 毛糸、而シテ毛布ニ迄爲サル、併シナガラ甚ダ大ナル分量<sup>コンチン</sup>而シテ甚ダ  
 價高キ夫ノ最モ多クハ其處ニ夫ガ製造サル、處ノ他ノ國ニ迄而シテ  
 英吉利、佛蘭西、而シテ日耳曼ニ迄輸出サル、

第三十章

南方ノ國ニ付テヨリ多ク

是等ノ國ノ最モ多クニ於テ亦米ガ生セラル、格段ニ南カロリナ而シ  
 テル<sup>レ</sup>、<sup>イシ</sup>ニアニ於テ夫ガ重ニ沼<sup>ボウシ</sup>多キ低地ニ於テ耕作サル、○夫ハ  
 夫ガ最初ニ轉カル、キニ水ノ下ニ有ルベク要スル而シテ夫ガ芽出ス  
 後ニ水ガ干シ去ラレ而シテ地ガ乾カシテ保タレ子バナラヌ<sup>レ</sup>是ハ夫ガ

其處ニ湖ガ干而シテ流ル、處ノ海岸ニ於テアル所ノ是等ノ暖キ國ニ於テ最モ好ク經濟ヲ以テナサレ能フ「米ガ小麥ニ甚ダ等シク生ズル而シテ鎌ヲ以テ刈ラル、○ビルジニア、北カロリナ而シテテンチツシーガメリーランドミツソリー、而シテケンタツシート一緒ニ彼等ニ於テ生セラレタル其ノ植物ノ大ナル分量カラ煙草ノ國ト呼バル、○ミシシツピーカラ北カロリナニ迄都テ海邊ニ沿フテ而シテ内部ニ迄後ニ數里廣ガリツ、夫カラ參兒而シテ松脂ノ大ナル分量ガ航海ノ貯ヘト彼等ガ呼バル、世界ノ都テ造船ノ國ニ迄供給サル、所ノ無數ノ松ノ森ガアル○西方ノ國ノ森カラ人參ガ支那ニ向テ集メラル、生マナル櫛、白櫛而シテ松ガ北ノ造船所ニ向テ櫛而シテ長材ガ英吉利而シテ佛蘭西ノ船藏ニ向テ屋根板而シテ材木ガ西印度ニ向テ薪ガ北ニ向テ而シテ飾リノ木ガ世界ノ都テノ部分ニ向テ集メラル、○都テ南方ノ國

ニ迄通常ノ重ナル收納ガ小麥、唐モロコシ、燕麥甘キ馬鈴署而シテ蠶豆而シテ豌豆デアル彼等ノ多クガ甚ダ大ナル分量ニ於テ高メラル、○ビルジニア、テンチツシー而シテ北カロリナノ小麥カラリチモンドニ於テ爲サレタル粉ガ或ル他ノ粉ヨリハ外國ノ市場ニ於テヨリ高キ價直チ命ズル「ビルジニアガ古キ領地ト呼バル、○ハルチモニア、ヒラデルヒア而シテニウヨークノ植物ノ市場ガビルジニア而シテ他ノ南方ノ國ノ花園而シテ樹園カフ彼等ノ最モ早キ供給ヲ以テ充タサル、緑色ノ豌豆和蘭苺、白都根而シテ甘キ馬鈴署ガ桃而シテ瓜ト共ニ潮水ビルジニア而シテ北カロリナカラ并ビニ加之ナラズ遠ク南ノ國カラノ無數ノ分量ニ於テ前ニ輸出サル、○ビルジニア、テキサス而シテアイカンサスカラ牛肉ノ大ナル供給ガ得ラル、テンチツシーノ羊毛ガ最モ細キ性質ノ物デアル」テキサスが亦家畜而シテ馬ノ數多キ而シテ大



ナル群ヲ養ウ○價高キ礦物ガ澤山ニアルアランド黄金ガ格別ニシヨルシヤ而シテ北カロリナノ山ニ於テ見出スル、鉄而シテ石炭ガビルジニア北カロリナ、テンチツシ、而シテアラバマニ於テ大理石ノ最モ美シキ物ガテンチツシニ於テ鹽而シテ硫黃サルファアノ無量ノ重リガル、イシニアニ於テ而シテ澤山ナル鹽泉ガアーカンサスニ於テ見出サル、○是等ノ國ノ美シキ氣候而シテ豊フェルティルカナル土地ガ地球ノ表面ニ於テ最モ快キ土地ノ如ク左様ニ好ク世界ニ於テ最モ多クノ生ズベキ國ノ一ト彼等ヲ爲ス耕作ガ人民ノ重ナル職業デアル而シテ製造而シテ山ノ種々ナル富ンメル礦物ノ堀ルヲガ唯々少カノ氣付ヲ受取レシメテタテ程左様ニ比較コトバシニ於テ利益プロフイットニアル最モ大ナル綿ノ製造ガシヨシヤニ於テアル鐵ノ製造ガウイシニアニ於テ長靴而シテ靴ノ製造ガル、イシアナニ於テアル○土地ノ澤山ナル產物が賣ラル、而シテ製造品ガ買ハル、左様ニ

我々が各處エブリーホエニ夫ヲ見出ステアロウ一ノ國ガ夫ガ用ユル處ノ各ノモノヲ生シ或ハ爲ス左様ニ其處ニ貿易即チ種々ナル國民而シテ國ノ間ニ物品而シテ商品ノ交易エキスチヤンシンガアル

第三十一章

右ハ問答ナルヲ以テ省畧ス

第三十二章

南方ノ小都府而シテ都府

南方ノ國ノ如キ耕作ノ國ニ於テ我々が製造或ハ貿易ノ分チニ於テノ如ク左様ニ多クノ大ナル都府ヲ稀ハイドリーニ望ムデアロウ最モ大ナル都府ガ重ニ其處ニ國ノ種々ノ產物が輸出サルベク集ガザドメラル、處デアル是等ノ重ナルモノガミシ、ツビー河ノ上ニル、イシアナニ於テニウオリアンスデアアル夫ガ世界ニ於テ最モ大ナル綿ノ市場デアル而シテ大ナ

ルミシ、ツビーノ谷バレーカラ受取タル夫ノ輸出ガニウヨークノ外合衆國ニ於テアル他ノ都府ノ是等ヨリ直打ニ於テヨリ大キクアル○要用ナルニ於テ而シテ綿ノ市場トシテメキシコ入江ノ上ニ小都府ノ内ニニウオリアンスニ迄次ニ位ランキンシツ、テキサスノガルベストン而シテアラバマノモービルガアル○南カロリナノチャールleston而シテジョシヤノサバナガ南方ノ國ノ最モ要用ナル大西洋ノ港デアル彼等ガ重ナル米ノ市場デアル而シテ綿ニ向テサバナーガニウオリアンスニ迄次ニアル○ウイルミントンガ北カロリナノ重ナル港デアル而シテビルジニアノノーフォルクガ海岸ニ於テ最モ美シキ港ノ一ツヲ持ツリンチハーク而シテペタースバークガ煙草ノ製造ニ於テ手廣エキスパンシブク係ワラサル、○大ナル煙草ノ市場ナルヴァージニアノリッチモンドガ亦手廣キ鉄細工而シテ粉フローイングヲ引ク車ヲ持ツ○テンチツシーノ南西ノ角ニ於テ

メンフォイスガ商賣ノ甚ダ要用ナル而シテ盛ナル中央デアル「ガルベストン」ガテキサスノ貿易ノ都府デアル○汝ハ都テノ部分ニ於テ重ナル小都府ガ夫ハ海ト共ニ彼等ヲ結付ル處ノ海ニ於テ或ハアル航海スベキ流ストリームニ於テ置カル、是ハ安キ運送而シテ夫ハ航海スベキ河ガ與ヘル所ノ他ノ利益アドバンテージノ故デアル○合衆國ニ於テ最モ古キ小都府ガフロリダノセントオーガスターンテアル而シテ汝ガキーウエストシチーニ付テ何ヲ記臆シナスカ○ポトマツク河ニ近クヴァージニアノ北方ノ部分ニ於テワシントンノ家而シテ埋葬場ナルモーショントバーノンガアル「夫ハ夫ガ或ル年以前ニ夫ヲ買ヒバルチユースドシ所ノ社會ノ持モノプロパティーデアル彼等ガ單ニ順序ニ於テ土地而ノ墓ヲ保ツノ目的ニ向テ夫ノ支配コントロールヲ持チ得シコノ爲メニ「次ノ半枚ニ於テノ畫ガヴァージニアノウエストモールランド郡ニ於テ彼ノ國ノ父ノ生處バルムグレイス而シテ幼年ノ家而シテ彼ノ父ガ植付タ所

ノ種ガ彼ノ名ノ文字ヲ形造ル<sub>フ</sub>ノ如ク左様ニ芽出ス<sub>ベ</sub>チ花床<sub>ベツト</sub>ノ一ニ於テ見ル<sub>コ</sub>ニ於テ彼ノ驚<sub>サ</sub>キヲ顯ハス

第三十三章

領地

我々ガ此ノ部分ノ勉強<sub>ス</sub>ヲ見捨ル前ニ私ガ印度ノ領地而シテニウメキシコニ付テ汝ニ話サ<sub>テ</sub>ハナラヌ<sub>ニ</sub>是等ノ二ツノ領地ガ南ノ國ト共ニ種類分<sub>ク</sub>タレル、如何トナレバ彼等ハ汝ガ地圖ニ於テ見ル如クロツキ一山ノ東ニ而シテ重ニ三十六度三十分ノ平行線ノ南ニアル而シテミシ、ツピ<sub>ト</sub>、リオグランデー、而シテ夫ハメキシコノ入江ニ迄流レル所ノ他ノ流レニ由テ于サル、故ニ汝ハ其處ニ西ニ於テ夫レニ結付<sub>ク</sub>所<sub>ニ</sub>デニウメキシコノ如ク同シ緯度ニ於テ他ノ領地ガアル<sub>コ</sub>ヲ<sub>チ</sub>氣付ル併シナガラ夫レノ水が大平洋ノ傾キノ河ヲ通シテ大洋ニ達スル而シテ

アリヅナイガ夫レ故ニ大平洋ノ國ト共ニ種類分タル、○地圖ニ於テ眺メヨ而シテ是等ノ二ツノ領地ノ各々が如何ニ界サル、カチ私ニ告<sub>グ</sub>ヨ夫ノ首府ヲ夫ノ河ヲ何處ニ彼等ガ起ルカ而シテ何處ニ彼等ガ濯<sub>ギ</sub>盡スカチ私ニ話セ○印度ノ領地ガ都テ他ノ者カテ違ツテアル夫ガ印度人ニ迄<sub>ベ</sub>スル而シテ彼等ニ由テ支配<sub>カ</sub>サル、私ハ甚<sub>ク</sub>ダ簡略ニ彼等ニ付テ汝ニ話サ<sub>テ</sub>ハナラヌ○汝ガ夫レハ夫レガ歐羅巴カラノ人民ニ由テ殖民<sub>セ</sub>サレシ前茲ニ生活セシ所ノ夫レ等ナル國ノ土民ガ印度人デアリシヲ<sub>チ</sub>學ン<sub>ダ</sub>彼ガ重ニ獵<sub>リ</sub>スル<sub>コ</sub>ト而シテ漁<sub>リ</sub>スル<sub>コ</sub>トニ由テ生活セシ<sub>ニ</sub>水牛<sub>ハ</sub>、鹿<sub>ハ</sub>、而シテ小鹿ノ無量ナル群ガ國ノ上ニ漂泊<sub>セ</sub>シ<sub>ニ</sub>是等ノ印度人ガ決シテ白人ヲ見、一ノ火器ヲ持タ<sub>ナ</sub>ンダ<sub>リ</sub>キ而シテ決シテ麥酒<sub>ハ</sub>或ハ彼等ガ夫ヲ呼<sub>ブ</sub>如ク火酒ヲ味ハ<sub>ナ</sub>ンダ<sub>リ</sub>キ<sub>ニ</sub>彼等ノ唯ノ武器<sub>ガ</sub>弓ト而シテ矢、槍而シテ戰<sub>フ</sub>斧<sub>デ</sub>アリシ<sub>ニ</sub>彼等ハ野蠻人デアリシ○彼等ガ白人

ノ火酒ヲ飲ミシコイレルス爭ヒ而シテヒコリス争闘ガ起リシ伏兵ニ於テアル處ノ印度人  
 ガ何時彼等ガ能ヒシトモ白人ヲ殺シマルダーイング而シテ皮ヲ剥ギツスカルベング、種族ノ戦ガ  
 從ヒシエシシト然シナガラ白人ガ益々數多クナリシ而シテ毎年國ノヨリ多ク  
 ナ充タセシ貧シキ印度人カ彼等ノ最モヨキ獵場ノ多クヲ失ヒシ而シ  
 テ益々纒カニナリシ然シナガラ彼等ガ尙ホ戦ヒツフリイテング、アル○其處ニ南  
 ノ國ノ山ノ土地ニ於テ而シテフロリダニ於テ殘サレタル彼等ノ種々  
 ノ種族ガアリシ終ニ政府ガ彼等ノ用ヒニ向テ備ヘラレタル陸ニ迄ミ  
 シ、ツビーノ西ニ移スベク都テ是等ノ人種ニ向テ用意ヲナセシアソシシメント是等  
 ノ陸ガチヨクトース、チツカサウス、チロキース而シテシミノールスノ  
 殘リモノ、本國ナル印度ノ領地デアル茲ニ彼等ガ生活自由ノ樂ミ受  
 ル而シテ我々カ都テ左様ニ高ク直打スル所ノ幸ノ職業ニ於テ生活  
 スル彼等ガ一部分開化サルベクナツタ○暴キ印度人ノ多クノ他ノ種

族ガ尙ホ西方ノ領地ノ上ニ漂泊スル毎年彼等ノ獵場ガ白人ノ新シキ  
 殖民ニ由テヨリ少ナクサル、而シテ彼等ガ彼等ヲ保チレイン而シテ彼等  
 ノ不正ロソクヲ復讐スベク戦ウ彼等ノ本國ヲ見捨テ而シテ彼等ノ父ノ本國  
 ナ見捨ル夫ガ彼等ニ向テ難クアル夫ハ彼等ニ迄分アロツテッドテ與ヘラレタ  
 所ノ國ガ甚ダ豊カニアルニ係ワラズ○汝ハニウメキシコガ印度ノ領  
 地ヨリヨリ多ク山ヲ持ツ而シテ左様ニ多クノ河ヲ持タン一チ地圖ニ  
 因テ氣付ル汝ハヨリ少カノ河ヲ夫レノ持ツ一カラ何ヲ考インシヤルヘルデアロ  
 ウカ夫ガ乾キタル國デアルカ然リニウメキシコガ西方ノテキサス  
 ノ如ク長キ旱魃ドローツニ迄屬シテアル○ニウメキシコニ於テ其處ニ夫レノ  
 上ニ暴キ馬家畜而シテ鹿ノ無量ナル群ガ漂泊スル所ノ廣大ナル平原  
 ガアル而シテ茲ニ亦平原ノ犬ナル夫ノ奇妙ナル少サキ動物アミメが見出サ  
 ル、彼等ハ村ニ於テ住ム而シテ彼等ノ仲間ニ向テ蛇スネークス而シテ梟オウヲ持ツ

次ノ半枚ニ於テ平原犬ノ村ノ畫ガアル○彼等ガ常ニ番ニ於テノ或者  
 ナ持ツ而シテ番犬ガ或ルモノヲ見ルヤ否ヤ彼等ガ吠ヘレブヲ與ヘ而シテ彼  
 等ノ穴ニ迄逃ゲ下リシインスタン直チニ村犬ガ都テ見エノ外ニアル併シナガラ  
 彼等ガ大ナル探リ込ムカリカシトヲ持ツ左様ニ各ノ犬ガ直チニ後返リスル而  
 シテ事柄ガ何デアアルカナ見ルベシトリスナ獵人ハ彼等ノ狡計ヲ知ル左様  
 ニ彼等ノ信用スベキ施條銃ヲ以テ彼ハ彼ガ彼ノ上ニ窺フ所ノ彼等ノ  
 少キ眼ヲ見ル迄待ツ而シテ彼カ速カニ甘デインチキ食物ヲ持ツ

第三十四章

西方ノ國

此ノ部分ガ北ニ於テアリチス亞米利加東而シテ南ニ於テ中央而シテ  
 南方ノ國而シテ西ニ於テロッキ―山ノ間ノ都テノ國而シテ領地ヲ含  
 ムレイシス西レインハーシニアハ是等ノ國ト共ニ種類分ケラル、如何トナレバ夫ガ

彼等ト同シ緯度ニ於テ有リ而シテ西方ノ氷ニ於テアル故ニ「カンサス  
 ノ國カ大西洋カラ大平洋ニ迄真直ナル線ニ於テ殆ンド中途ニアル  
 ○ミチガンノ外都テ西方ノ國而シテ領地ガミシシツピ―河ノ谷ニ於  
 テアル」是等ハテンチツシ、ミシシツピ―ル―イシアナ、而シテアーカ  
 ソサスト共ニ時トシテ谷ノ國ト呼バル、夫ガニウヨ―ク而シテペン  
 シルハニヤチ合ミツ、大ナル湖水ニ於テ界スル所ノ都テカ湖水ノ國  
 ト呼バル、如ク「ミチガンノ都テノ氷而シテ他ノ湖水ノ國ノ夫レ等ノ  
 一部分カ湖水ノ方角ニ由テ海ニ迄彼等ノ路ヲ見出ス○若シモ汝カ注  
 意シテ眺メルナラハ汝ハ夫ノ水カ甚ダ種々ノ路ニ因テ大洋ニ達スル  
 所ノ國ノ他ノ少サキ部分ヲ見出ステアロウ」水ハミチソク、而テテダコ  
 クノ北方ノ部分カラ「北亞米利加ノ地圖」ウイニピツグナル湖水ニ迄而  
 シテ夫レカラハドソン灣、ハドソン海峡而シテ大洋ニ迄流ル、○西シエンスヅ

アシニア而シテケンタツキーノ南東方ノ部分ガロツキー山ニ由テ横切ラレタル領地ノ部分ノ如キ左様ニヨク山ガチニアル併シナガラ西方ノ國ノ表面ガ一般ニ平地レベルデアアル○平原ハ西國ノ著シキ容貌フェイスチ形造ル彼等ガ丈高キ草而シテ輝ブライトキタル花チ以テ蓋ハレタル廣大ナル樹ナキ平地デアアル彼等ノ上ニ旅ジョーキーハ仮令彼等ノ美ナルビューティーヲ而シテ富カ旅人ノ目チ逃チヤームバスト雖モ夫ノ一様カラ倦タイアサムレテアル水牛、小鹿、大鹿、暴キ馬、而シテ家畜ノ無量ナル群カ彼等ノ上ニ漂泊スル耕作ニ迄持來サレタルニ彼等ハ非常ニ豊饒ニアル○汝ハ夫レニ付テ私ガ既ニ汝ニ告ゲタ所ノ三ツノ部分ノ氣候而シテ產物ニ付テ學ンダ所ノモノ、後ニ汝ハ是等ノ國ニ付テ甚ダ容易ク了解スルデアロウ私ハ夫レ故ニ私ガ終リノ章ニ爲セシヨリハヨリ多ク簡略ニ汝ニ迄此ノ部分チ記載シ能ウ汝ハ今氣候ノ如何ナル種類而シテドンナ植物ノ產物ガ各々ノ國ニ於テ見

出サルベクアルカチ話シ能ヒシ若シモ汝ハ汝ガ二十二章ニ於テ而シテ其後學ビシ所ノ者ニ付テ唯考ヘルデアロウナラバ○仮令ハミチソタガメーンヨリハヨリ少シ遠ク北ニアル夫ガ短キ夏ト共ニ長キ而シテ寒キ冬チ持ツデアロウ而シテ收納ガメーンノ夫レ等ニ甚ダ同ジク有デアロウ併シナカラ其處ニ一ノ要用ナル違デアアエンスヒガアルメーンハミチソタガ遠ク内地ニ有ル而シテ乾キタル空氣アトモスフアーチ持ツノニ濕ツタル寒チリキ東風チ以テ海岸ノ長キ線チ持ツ○此ノ道理ニ向テ夫ハ北方大西洋ノ國ノ濕ツタル空氣チ呼吸ブレッヂングスルヲガラ惱ム所ノ弱ヤウニスキ肺臟チ以タル多クノ人ガミチソタニ迄行クヲニ由テ甚ダ利益ベネフィットサル、○他ノ方ニテハ汝ガデラウエア、メリーランド而シテヴァージニアノ產物而シテ勉強ニ付テ學ンダ所ノモノニ付テ考ヘヨ而シテ汝ガ西方ノ國ノ南方ノ列レイニ付テ甚ダヨク判断シ能ウ

第三十五章

西方ノ國ニ就テヨリ多ク

是等ノ國ノ土地ガ非常ニ豊饒ニアル（エキスシーディングリーフアール）彼等ガ合衆國ノ穀物倉（ウラナリー）デアアル委  
 ク云ヘハ是等ノ國ノ農夫ハ彼等ガ全ク國ヲ供給スベク十分ナル唐モ  
 ロコシ而シテ小麥而シテ其他他ノ國ニ迄送ルベク收置（スベリア）クベク多クテ  
 持ツテ程左様ニ多クノ穀物ヲ生ズル其處ニ夫ガ食物收納ノ產物ニ於  
 テ是ヲ打超ヘ能フ所ノ世界ニ於テ國ノ僅カノ土地ガ有ル○是等ノ國  
 ノ南方ノ列ニ於テ汝ガ麻（ヘムプ）、煙草、果實而シテ多ク耕サレタル植物ヲ見出  
 スデアアロウ（オハヨ）而シテミソリーハミソリー而シテケンタツキー  
 ガ彼等ノ煙草而シテ麻ニ向テ有ル如ク左様ニ多ク彼等ノ葡萄而シテ  
 葡萄酒ニ向テ名高クサル、○平原ガ一ツノ樹ヲ持タン故ニウイスコ  
 ンシン而シテミチソター而シテ其處ニ其處ニ好キ森ガアル處ノ他ノ

國ノ材木（ラムバ）ノ商賣ガ甚ダ高價デアアル平原ノ或ル物ニ於テ人民ガ森ノ樹  
 ヲ植付ルコトノ試験（エキスベリメント）ヲ試ミツ、アル○西方ノ國ノ動物ノ產物ガ家畜、豚  
 而シテ馬、牛肉而シテ豚肉而シテ毛皮デアアル彼等ガ亦大ナル分量ニ於  
 テ毛ト成ル夫ハ其處ニ荒キ水牛（バッファロー）、數百萬（ミリアン）而シテ鹿而シテ麋（オシカ）ノ無量ノ  
 群ガ以前ニ人ノ助ケナシニ牧場（パストレーシ）ヲ見出セシ處ノ斯様ナル好キ草ノ國  
 デアル處ノ國ガ彼ノ氣付而シテ注意（アツテンション）ノ下ニ好キ牧畜（クワシヤン）スル所ノ國デ有  
 テハナラヌ○是等ノ國而シテ領地ノ礦物ノ貯ヘガ甚ダ大キナル彼  
 等ガ黃金而シテ銀ナル高價ノ金屬并ニ鉄、鹽而シテ石炭ノ如キ他ノヨ  
 リ多少要用ナル金屬而シテ礦物カラ成立ツ○其處ニ玆ニ地球ニ於テ  
 石炭ノ重層即チ塊リガ名付ラル、如ク世界ニ於テ最モ大ナル石炭ノ  
 野ガ有ル併シナガラ彼等ガベンシルバニアノ夫等ノ如ク左様ニ手廣  
 シ掘リ出サレン○西ビルジニアニ於テ爲サレタル鹽ガ肉チ鹽漬（カリーニン）ニス

ルヲニ向テシンシナリニ於テ豚肉漬メル人ニ由テ大ヒニ貴バル  
 、○ミソリーニ於テ其處ニ殆ント固キ鉄ノ山ガアル而シテ他ノ國ノ  
 丘陵ガ此ノ要用ナル金属ニ於テ充ツル○サツペリオ湖水ノ南ミチガ  
 ン而シテウイスコンシンニ於テ最モ好キ銅ガ大ナル澤山ニ於テ見出  
 サル、○イリノイスノ北西ノ隅ニ於テ見ヨ而シテ汝ガガレナチ見出  
 スデアロウイリノイスノ此ノ部分ニ於テ而シテウイスコンシン而シ  
 テアイオアノ近隣ノ部分ニ於テノ國ガ亦ミソリーノ南西ノ部分ガア  
 ル如ク鉛ヲ以テ富デアル○ロツキー山ガ加之ナラズアレガニ一ヨ  
 リハ礦物ニ於テヨリ富デアル其處ニ領地ヲ掘ル所ノ金及ビ銀ニ迄移住  
 人ノ大ナル入來ルヲガアル○夫ハ都テ此ノ部分ガ荒地デアリシ以來  
 唯僅カノ年デアアル夫ガ生長シタ而シテ稠密ニ殖民シタル而シテ富マ  
 ル土地ニ迄速カニ生長シツ、アルオハヨ一ハ人口ニ於テ連合ノ國ノ

内ニ第三ニ列スル○汝ガ是等ノ國ノ我々ノ勉強ニ於テ學ンダ如シ耕  
 作、牧畜而シテ礦掘ルヲガ人民ノ重ナル職業デアアル假令オハヨ一ガ製  
 造ニ於テニウヨーク、ペンシルバニア而シテマツサキユセツツニ迄次  
 ニ位スルトハ雖モ○私ノ若キ朋友ヨ汝ガ種々ナル部分ヲ勉強スルヲ  
 ニ於テ如何ニ國ノ種々ナル部分ガ互ヒテ助ケルカナ考ヘタカ西ガ食  
 物、麵包、肉而シテ牛酪ヲ東ニ迄給スル東ハ製造サレタル品物ヲ西ニ迄  
 給スル南ハ食物ニ向テ米而シテ小麥ノ外ニ衣服ニ向テ綿ヲ給スル北  
 ハ毛布ニ迄夫ヲ爲ス而シテ夫ヲ後ニ送ル○此ノ部分ノ三ツノ最モ大ナ  
 ル都府ガ西ノ大ナル穀物ノ市場ナルイリノイスノチカゴ、オハヨ一  
 谷ノ貿易ノ中心而シテ大ナル豚肉ノ市場ナルオハヨ一ノシンシンナ  
 一チ而シテミシシッピ一谷ノ貿易ノ中心ナルミソリーノセントロー  
 イスデアアル下ノナ河或ハ湖水ニ於テ是等ノ都府ノ各々が置カル、カ



ナ見ヨ「汝ガ船ノ上陸而シテ都テ彼等ノ鐵道レールロードノ待合所デポヲ甚ダ忙ガシキ  
 場所ト見出スデアロウ○他ノ最モ重大イムポーダントナル小都府ノ或ルモノガケン  
 タツキーノルースビル、ミチガンノデイトロイト、ウイスコンシンノ  
 ミルウオキー、インディアナノインディアナポリス、アイオワノダブーク、西  
 ビルジニアノボーリング而シテミチソタノセントポールデアル

明治十八年七月七日版權免許  
 明治十八年七月 出版

定價金三十五錢

譯述人

石川縣士族

三上精一

芝區愛宕町三丁目壹番地

出版人

慶雲堂

柴田米三郎

芝區日蔭町壹丁目壹番地

森屋

森半之助

芝區柴井町十六番地

文開堂

鏞木七五郎

芝區愛宕下町四丁目壹番地

賣捌書林

日本橋通三丁目	丸善書店	小傳馬町三丁目	東生鉄五郎
兩國吉川町	島屋一助	南傳馬町一丁目	吉川半七
本町三丁目	瑞穂屋卯三郎	同 三丁目	中川仁三郎
芝柴井町	土屋忠兵衛	同 二丁目	辻本支店
京橋錦屋町	大和屋松之助	神田一ッ橋通町	有斐閣
尾張町二丁目	上田屋榮三郎	同 表神保町	文盛堂
上槇町	吉田金造	芝三島町	山中市兵衛
銀座四丁目	坂本金次郎	銀座二丁目	山中孝之助
美土代町四丁目	桃林堂	南傳馬町一丁目	叢書閣
神田小川町	日進堂	同	赤澤政吉
同 表神保町	開新堂	麴町八丁目	森田鐵五郎
同 裏神保丁	三省堂	芝口三丁目	二三屋三二
同 錦町一丁目	十字屋	同 露月町	米倉屋順三郎
同 表神保町	東洋館	同 愛宕下町	嶋田雅太郎
		同 四丁目	河合留吉
		新シ橋	愛知堂

湯嶋切通阪丁	南江堂	飯倉六丁目	鎗屋清三郎
神田裏神保町	澤屋蘇吉	神田表神保町	中西屋邦太
通四丁目	和泉屋善兵衛	銀座三丁目	十字屋
神田鍛冶町	富士屋金十郎	中橋廣小路	文明堂
銀座三丁目	昇榮堂	神田表神保町	倉田屋幾次郎
本所元町	萬字屋	淡路町一丁目	嚴々堂
表神保町	十二堂	日本橋通一丁目	萬屋孫兵衛
淡路町	高岡	麴町四丁目	磯部太郎兵衛
相洲小田原	大鳥二郎兵衛	同 十一丁目	東川堂
大坂本町四丁目	岡島眞七	南傳馬町一丁目	松山堂
同北久太郎町四丁目	柳原喜兵衛	藥研堀町	鈴木喜右衛門
越後長岡町	目黒十郎	大坂備後町四丁目	梅原龜七
西京四條通	風月庄左衛門	横濱本町通	丸善支店
京都河原町通	大黒屋太郎右衛門	越後新潟	林富吉
岩代福嶋町十一丁目	鑑屋左右太	名古屋	永樂屋東四郎
函館大町	常野嘉兵衛	陸奥津輕	野崎九兵衛

ウニブストル氏スペルリング獨稽古

定價 金廿五錢

モーレー氏地理書直譯

定價 三十五錢

代數獨學 匕

定價 金廿五錢

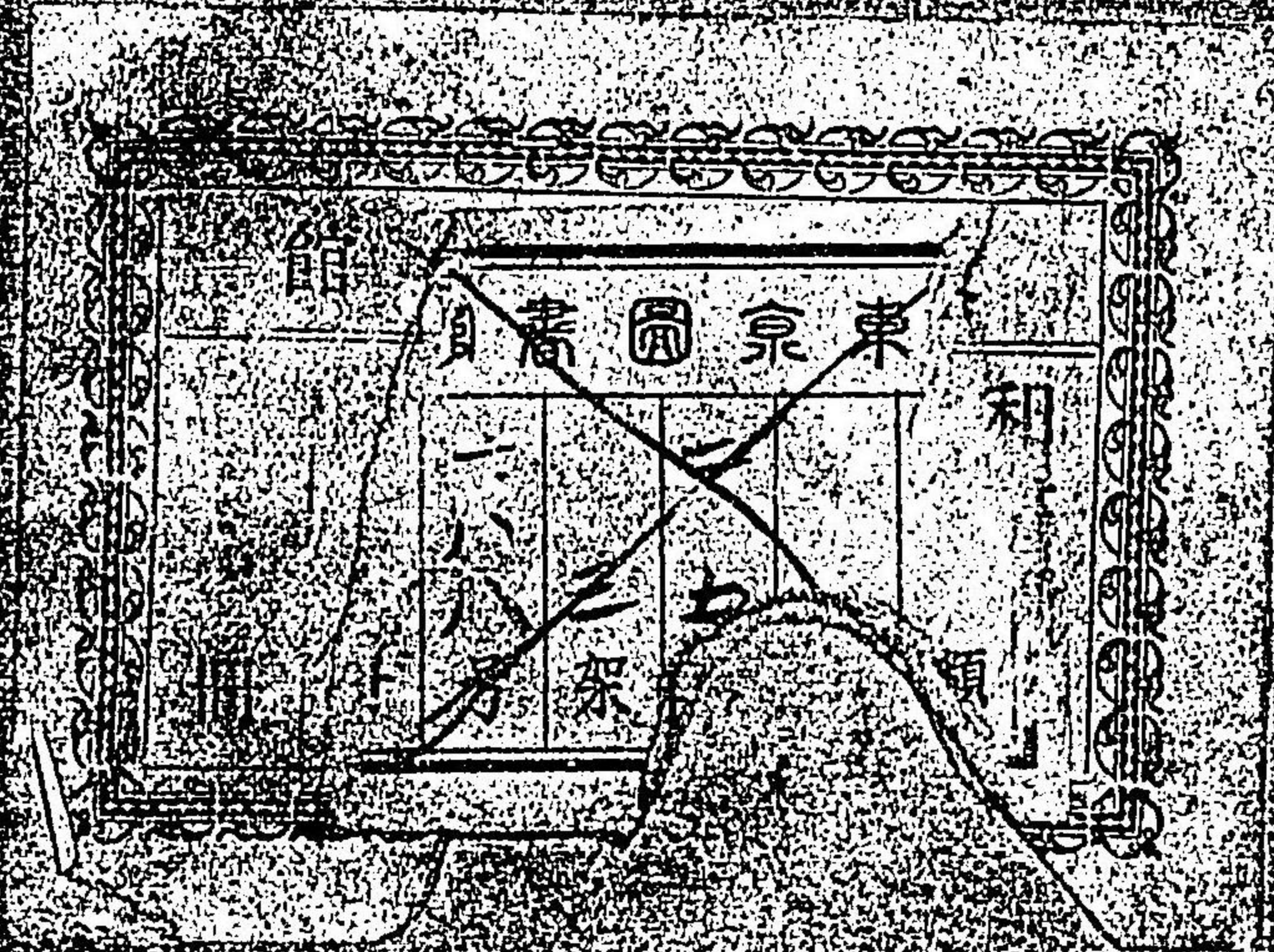
サンダーユニチン第三讀本直譯初編次編

定價 各金卅五錢

同 第二讀本直譯

定價 金二十錢

25
3
308



0  
9